

その先の感動



第43回



大分国際車いすマラソン

THE 43rd OITA INTERNATIONAL WHEELCHAIR MARATHON

2024.11.17 SUN AM10:00 START!

MEMORIAL BOOK

大会記念誌



第43回 大分国際車いすマラソン 大会会長
大分県知事

佐藤樹一郎
SATO KIICHIRO

大会会長あいさつ

昭和56(1981)年の国際障害者年に世界初の車いす単独のマラソンレースとしてスタートした「大分国際車いすマラソン」は、令和6(2024)年11月17日に第43回大会を盛大に開催することができました。

今大会は、オリンピックイヤーでの開催となり、パラスポーツへの関心が高まる中、パリパラリンピックのメダリストを中心に白熱したレースが繰り広げられ、国内はもとより世界中から注目が集まる大会となりました。

迎えたレース当日は心配された雨も降らず、風も穏やかな絶好のコンディションの下、海外12か国から41名、国内30都道府県から149名の計190名の選手が自らの限界に挑戦し、179名が完走を果たしました。

マラソン男子最速クラスのT34/53/54では、金華選手がレース終盤までもつれた鈴木朋樹選手とのデッドヒートを制し、アジア新記録で大会初優勝を飾りました。

また、T33/52クラスでは、伊藤竜也選手がフルマラソン初優勝、最も障がい重いT51クラスでは、ピーター・ドゥ・プレア選手が8連覇を達成しました。

マラソン女子でも、T34/53/54クラスでカテリーヌ・デブルナー選手が世界王者の名にふさわしい圧巻の走りで大会連覇を果たすなど、世界最高峰の車いすマラソンレースが各クラスで展開されました。

沿道や競技場、映像を通じて、熱い声援を送ってくださった皆様をはじめ、大会運営にご協力いただいた企業や団体、医療関係者、ボランティアなど、多くの方々のご支援に改めて感謝申し上げます。

結びに、この大会が積み重ねてきた感動の歴史の重みを糧としながら、スポーツのもたらす力を「OITA」の地から世界へ力強く発信していくとともに、障がいの有無や国籍、文化の違いを超え、誰もが心豊かに暮らすことのできる共生社会の実現への一層の尽力を誓い、発刊のあいさつとします。



優勝の瞬間

マラソン

マラソン男子 T34/53/54 優勝



金華

中国

JIN HUA
CHINA

1° 18' 31"



銀メダルを獲得したパリ2024パラリンピックでの熱意をそのままに迎えた今大会。レース終盤までもつれた鈴木朋樹選手とのデッドヒートを制し、アジア新記録で初優勝。新時代の幕開けを予感させる新星の走りに今後も目が離せない。

マラソン男子 T33/52 優勝



伊藤 竜也 いたう たつや

福井県

ITO TATSUYA
FUKUI

1° 55' 37"



パリ2024パラリンピック出場など、短距離を主戦場に国内外で活躍する伊藤竜也選手。「風が複雑で厳しかったが、プランどおりに走れて楽しかった」と語るように、歴戦の経験を活かし、マラソン初出場で初優勝を飾った。

マラソン女子 T34/53/54 優勝



カテリーヌ・デブルナー
スイス
CATHERINE DEBRUNNER
SWITZERLAND

1° 36' 49"



途中、リタイアを考えるほどの疲労やめまいを感じたとしながら、世界王者の名にふさわしい圧巻の走りで大大会連覇。レース後「来年は6大メジャーマラソンに出場し、もっと自分を高めていきたい」と語ったその眼差しは、更なる高みを見据えていた。

マラソン男子 T51 優勝



ピータードゥプレア
南アフリカ
PIETER DU PREEZ
SOUTH AFRICA

2° 34' 37"



体調不良により十分な練習ができず、苦しみながらのレースだったが、世界王者たる貫禄の走りを見せつけ大会8連覇。「大分には特別な思い出があり、来年もまた戻って来たい」とコメントした。

優勝の瞬間

ハーフマラソン

ハーフマラソン男子 T34/53/54 優勝



生馬 知季

いこま ともき

岡山県

IKOMA TOMOKI
OKAYAMA

0° 44' 04"

2大会連続のパラリンピック出場を果たしている実力を遺憾なく発揮し4連覇。持ち前のスプリント力を武器にゴール直前の三つ巴の激しい展開を制した。



ハーフマラソン男子 T33/52 優勝



松本 直幸

まつもと なおゆき

福岡県

MATSUMOTO NAOYUKI
FUKUOKA

1° 02' 05"

2週間前にN.Y.Cマラソンへ出走したばかりであったため、今回はハーフに出場し優勝。来年は再びマラソンへの出場を誓った。





ハーフマラソン男子 T51 優勝



井上 聡

いのうえ さとし

愛媛県

INOUE SATOSHI
EHIME

1° 38' 28"

当日の風や練習不足の影響でペースが上がらなかったが、自己採点は100点。マラソンT51日本記録保持者の力を発揮し、5年ぶりの優勝を飾った。



ハーフマラソン女子 T34/53/54 優勝



中尾 有沙

なかお ありさ

熊本県

NAKAO ARISA
KUMAMOTO

0° 56' 23"

日本選手権三段跳びで優勝経験をもつ生粋のアスリート。初出場ながら2位に6分以上の差をつけた圧勝劇にも、「狙うは来年の記録更新」と次なる目標を掲げた。



ハーフマラソン女子 T33/52 優勝



西村 柚菜

にしむら ゆうな

静岡県

NISHIMURA YUUNA
SHIZUOKA

1° 11' 28"

女子T52クラス陸上400mの日本記録保持者である西村柚菜が初出場にして初優勝。「走りやすいコースと沿道からの声援で気持ちよく走れた」とコメントした。



大会前行事

県民との交流事業・海外選手歓迎セレモニー・クラス分け・選手受付・記者会見

県民との交流事業

海外選手と園児・児童の交流

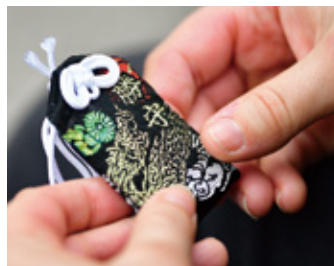
11/14^[木]

学校法人平松学園 千代町幼稚園

11/15^[金]

大分市立大道小学校

国籍や障がいを越えたダイバーシティなコミュニケーションを目的に交流イベントを実施。アメリカやメキシコなど総勢20名の海外選手が、ゲームやダンスなどを通じて交流を楽しんだ。



海外選手の地域訪問 (宇佐神宮)

11/15^[金] 宇佐神宮

国東半島に広がる神仏習合の発祥地とされ、山岳信仰・六郷満山文化と深い関わりを持ち、全国に4万社余りある八幡様の総本宮である宇佐神宮をスイスのパトリシア・イーカス選手とコーチが参拝し必勝を祈願した。イーカス選手は「好成績を出せることと、家族や友人の幸せを祈った。力をもらったように感じた」と語り、満足した様子で神宮を後にした。

海外選手歓迎セレモニー 11/13^[水] レンブラントホテル大分

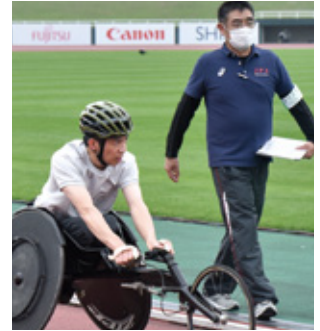
海外選手第一陣の到着に合わせて歓迎セレモニーを実施。大会事務局と通訳ボランティアCan-doが拍手で出迎え、花束を手渡した。メキシコのアルフォンソ・サラゴサ選手は「また大分に戻ってくることができてうれしい。20位以内を目指す」と大会への抱負を語った。



クラス分け

11/15 [金] 13:00~18:00 11/16 [土] 8:30~13:00
ジェイリーススタジアム

公正なレースの開催に向け、身体機能の検査や競技パフォーマンスの確認など、対象選手のクラス分けを実施した。



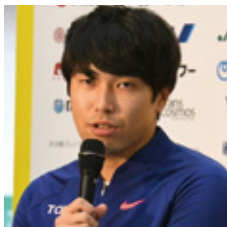
選手受付

11/16 [土] 9:00~12:00
大分県庁舎本館
レンブラントホテル

大会前日。明日の本番を控え、参加者はそれぞれの闘志を胸に選手受付を行った。

記者会見 11/16 [土] 15:00~ ガレリア竹町ドーム広場

男女有力選手5人が参加し記者会見を実施。南アフリカのピーター・ドゥ・プレア選手は「大分のことが大好きだ。ベストを尽くしたい」と、意気込みを語った。また、直前のケガで出場を辞退したマラソン男子 T34/53/54 世界王者のマルセル・フグ選手からも熱いメッセージが寄せられた。



鈴木 朋樹
SUZUKI TOMOKI
埼玉県



金 華
JIN HUA
中国



カテリーヌ・デブルナー
CATHERINE DEBRUNNER
スイス



土田 和歌子
TSUCHIDA WAKAKO
東京都



ピーター・ドゥ・プレア
PIETER DU PREEZ
南アフリカ



開会式

オープニングアトラクション・開会式

オープニング アトラクション

「ゆるくて あそび心あふれる、 インクルーシブ社会へ」

11/16^{〔土〕} 12:15~ ガレリア竹町ドーム広場

開会式に先立ちオープニングアトラクションを開催。インクルーシブな社会の在り方について語り合うとともに、誰でも簡単に演奏することができる「ゆる楽器」を使った即興セッションも行われた。



ソニー・太陽株式会社
代表取締役社長
西島 史隆 氏



世界ゆるミュージック協会
ソニーミュージック チーフマネージャー
梶 望 氏



世界ゆるスポーツ協会 代表理事
コピーライター
澤田 智洋 氏



司会進行
OBSアナウンサー
三重野 勝己 氏

開会式 11/16^{〔土〕} 14:00~ ガレリア竹町ドーム広場

大会会長の佐藤樹一郎大分県知事や来賓のロジェ・ドゥバッハ駐日スイス大使などのあいさつが行われ、大会はいよいよ幕を開けた。式典終了後には、大分商業高等学校吹奏楽部を先導に、参加選手が商店街をパレードし、県民との親睦を深めた。



大会会長あいさつ／大分県知事
佐藤 樹一郎
SATO KIICHIRO



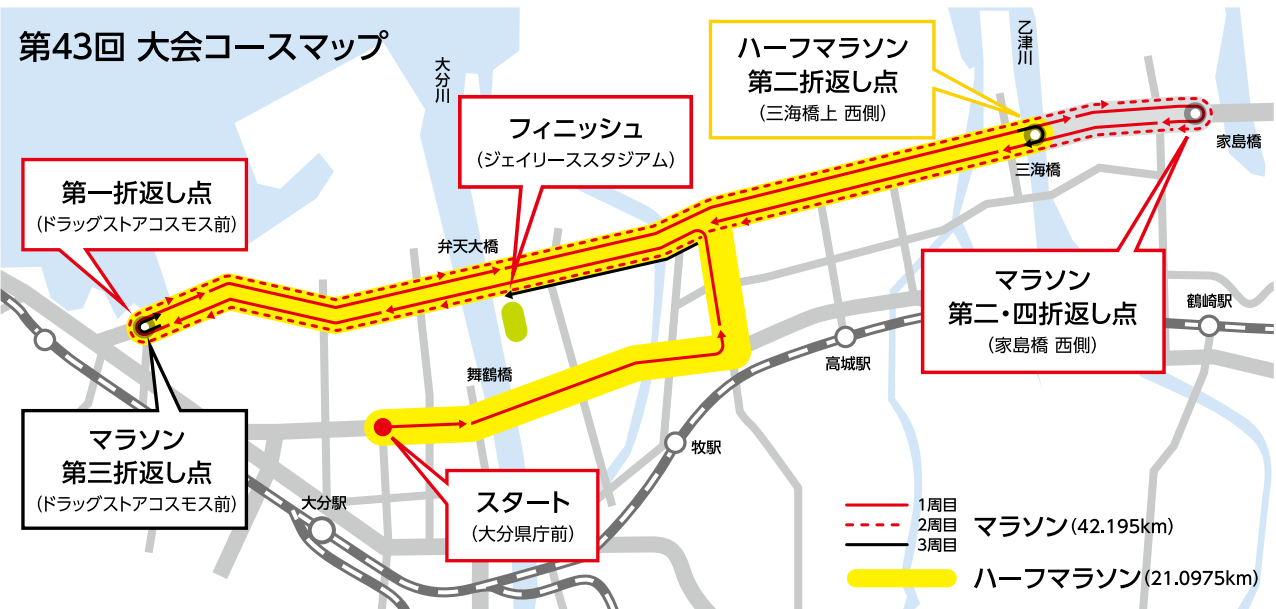
地元市長あいさつ／大分市副市長
佐藤 耕三
SATO KOUZO

選手宣誓

選手宣誓はともに初出場で最年少14歳の梶取春斗選手と和氣佳汰選手。梶取選手は「応援する側から挑戦する側になりたい」、和氣選手は「6年前から出場を決めていた」とそれぞれ大会への熱い想いを語った。



来賓あいさつ／駐日スイス大使
ロジェ・ドゥバッハ
ROGER DUBACH



スタート直前

心配された雨も降らず、風も穏やかな絶好のコンディションとなった大会当日。選手たちは車検やロゴチェック等を済ませウォーミングアップを始める。最初は楽しそうな雰囲気選手同士談笑する場面も見られたが、レースが近づくにつれ徐々に緊張感が漂う。





スタート

11/17 [日] 10:00~ マラソンスタート

大分県庁前

大会会長の号砲を合図にスタート。
「その先の感動」に向け、力強く車輪は回り出す。



マラソン スターター 大会会長 大分県知事
佐藤 樹一郎





11/17 [日] 10:03~ ハーフマラソンスタート

大分県庁前

フルマラソンから遅れること3分。
ハーフマラソンがスタート。大分市
内は一気に熱気に包まれる。



公益財団法人日本パラスポーツ協会
日本パラリンピック委員会 会長

森 和之



レース

海外12ヶ国から41名、国内30都道府県から149名、計190名の選手が出走。障がいの程度に応じた3クラスに分かれ、マラソンとハーフマラソンで競い合い、フィニッシュとなるジェイリースタジアムを目指す。





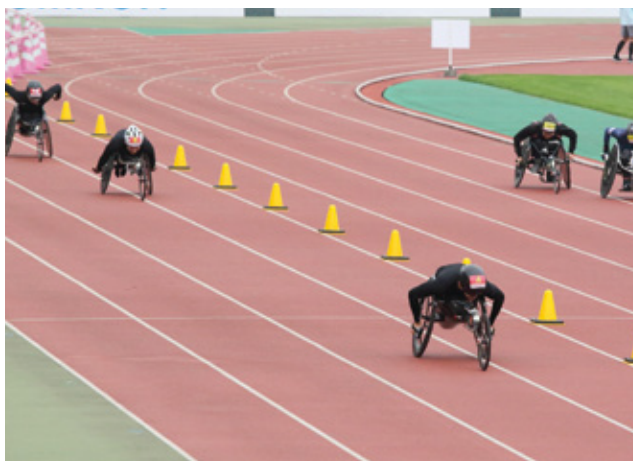
レース

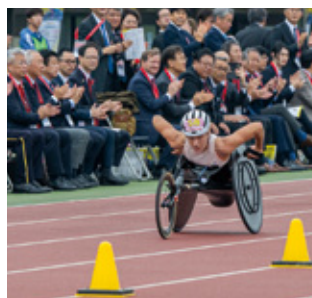




そしてフィニッシュへ

マラソン男子T34/53/54では、金華選手がアジア新記録で初優勝。マラソン女子T34/53/54では、カテリーヌ・デブルナー選手が大会連覇。参加した選手全員が自らの限界に挑戦し、179名が完走を果たした。





競技場にて

激しい戦いを終え、お互いの健闘を称えあう選手たちの姿。自分を信じ、支えてくれた人を想い、前を向いて努力を積み重ねてきた選手たちの強さと謙虚さは、見る人に感動と勇気を与えた。





閉会式

入賞した選手一人ひとりにメダルが贈られ、笑顔に包まれた閉会式。選手はもちろん、スタッフ、ボランティア、すべての関係者によって支えられた第43回大分国際車いすマラソンがここに幕を閉じた。



閉会あいさつ／大会会長 大分県知事
佐藤 樹一郎
SATO KIICHIRO



マラソン審判長
小俣 秀之
OMATA HIDEYUKI



ハーフマラソン審判長
原 俊介
HARA SYUNSUKE



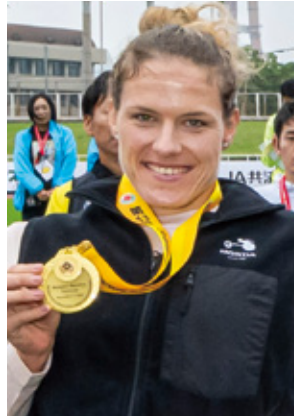
閉会宣言／大会実行委員長
工藤 哲史
KUDO NORIFUMI





マラソン男子
T34/53/54 優勝

金華
JIN HUA



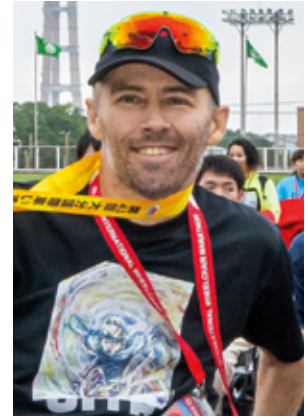
マラソン女子
T34/53/54 優勝

カテリーヌ・デブルナー
CATHERINE DEBRUNNER



マラソン男子
T33/52 優勝

伊藤 竜也
ITO TATSUYA



マラソン男子
T51 優勝

ピーター・ドゥ・プレア
PIETER DU PREEZ



ハーフマラソン男子
T34/53/54 優勝

生馬 知季
IKOMA TOMOKI



ハーフマラソン女子
T34/53/54 優勝

中尾 有沙
NAKAO ARISA



ハーフマラソン男子
T33/52 優勝

松本 直幸
MATSUMOTO NAOYUKI



ハーフマラソン女子
T33/52 優勝

西村 柚菜
NISHIMURA YUUNA



ハーフマラソン男子
T51 優勝

井上 聡
INOUE SATOSHI



閉会式



大分県知事 佐藤 樹一郎



大分県福祉保健部長 工藤 哲史



大分県障がい者スポーツ協会 会長 佐藤 章



オムロン株式会社 取締役 行本 閑人



ソニーグループ株式会社 代表執行役 会長 CEO 吉田 憲一郎



三菱商事株式会社 代表取締役 常務執行役員 野島 嘉之



新日本製薬株式会社 商品戦略本部 執行役員 塘口 一光



一般社団法人中村裕パラスポーツサポートミーティング 十川 裕次



入賞者 1. マラソン 男子T51・男子T33/52



入賞者 2. マラソン 女子T34/53/54・男子T34/53/54



入賞者 3. ハーフマラソン 男子T51・女子T33/52・男子T33/52



入賞者 4. ハーフマラソン 女子T34/53/54・男子T34/53/54



大分市長 足立 信也



大分合同新聞社 取締役 児玉 真路



公益財団法人日本パラスポーツ協会
日本パラリンピック委員会 会長 森 和之



一般社団法人 日本パラ陸上競技連盟
会長 増田 明美



スポーツ庁 次長 寺門 成真



陸上自衛隊別府駐屯地第41普通科連隊
連隊長兼別府駐屯地司令 小林 直基





熱戦を繰り上げた選手たちは、たくさんの大会関係者に見送られ、会場を後にした。



11/17 [日] 18:30~20:30 レンブラントホテル大分

選手や関係者、通訳ボランティアCan-doが大会終了後の交流会に参加。美味しい料理やお酒とともに、大会の余韻に浸りながら、「OITA」での再会を誓った。



協力者・ボランティア

陸上自衛隊や大分県警をはじめ、企業や団体、学校などから集まったボランティアはなんと約1,800人。大会の準備、円滑な運営、万が一の備えのために選手の約10倍の数の人々が大会を支えた。関わったすべての人に感謝。



陸上自衛隊 別府駐屯地 第41普通科連隊



大分県警察本部





オムロン株式会社



オムロン株式会社



ソニーグループ株式会社



本田技研工業株式会社



三菱商事株式会社



株式会社デンソー



エフサステクノロジーズ株式会社



新日本製薬株式会社

協力者・ボランティア



九州電力株式会社



キャンノン株式会社



ジブラルタ生命保険株式会社



清水建設株式会社



全日本空輸株式会社



東京海上日動火災保険株式会社



第一生命保険株式会社



鬼塚電気工事株式会社



西日本電信電話株式会社



株式会社ブンゴヤ薬局



トランスコスモス株式会社



明治安田生命保険相互会社



株式会社三井住友銀行



大分みらい信用金庫



大分航空ターミナル株式会社



連合大分中部地域協議会

協力者・ボランティア



大分リハビリテーション専門学校



大分東明高等学校



一般財団法人 大分陸上競技協会



大分県バラスポーツ指導者協議会





 第43回

大分国際車いすマラソン

THE 43rd OITA INTERNATIONAL WHEELCHAIR MARATHON

資料編

マラソン クラス別順位 / Rankings for Marathon in each class

●T51 女子 出走者なし

●T51 男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバー No.	氏名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	2° 34' 37"	78	ピーター・ドゥ・プレア	44	南アフリカ
2	2° 36' 33"	79	ジョン・マッカーシー	50	アイルランド

世界記録：ピーター・ドゥ・プレア (南アフリカ) 2° 22' 33" 2022 第41回大分国際
 日本記録：井上 聡 (愛媛県) 2° 30' 32" 2006 サン・アントニオ
 大会記録：ピーター・ドゥ・プレア (南アフリカ) 2° 22' 33" 2022 第41回大分国際

●T33/52 女子 出走者なし

●T33/52 男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバー No.	氏名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	1° 55' 37"	73	伊藤 竜也	38	福井県
2	1° 55' 38"	69	佐藤 友祈	35	岡山県
3	1° 56' 08"	70	上与那原 寛和	53	沖縄県
4	2° 03' 15"	71	サンティアゴ・サンツ	44	スペイン
5	2° 13' 06"	72	ナタン・モリス・ベラスケス	49	メキシコ
6	2° 20' 44"	75	ノーバート・ホロワット	27	アメリカ
-	DQ	74	キム・ジュニョン	41	韓国

世界記録：トーマス・ガイアシュペヘラー (オーストリア) 1° 40' 07" 2008 北京パラリンピック
 日本記録：上与那原 寛和 (沖縄県) 1° 40' 10" 2008 北京パラリンピック
 大会記録：サンティアゴ・サンツ (スペイン) 1° 43' 46" 2007 第27回大分国際

●T34/53/54 女子

順位 Rank	記録 Time	ナンバー No.	氏名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	1° 36' 49"	58	カテリーヌ・デブルナー	29	スイス
2	1° 40' 00"	63	パトリシア・イーカス	35	スイス
3	1° 40' 01"	61	土田 和歌子	50	東京都
4	1° 44' 25"	59	イーデン・レインボー・クーパー	23	イギリス
5	1° 47' 59"	62	喜納 翼	34	沖縄県
6	2° 01' 22"	66	瀧村 和美	41	東京都
7	2° 22' 02"	68	ミカエラ・ディングリー	30	オーストラリア
8	2° 33' 54"	67	ペロニカ・エリザベス・グレーロ	52	メキシコ

世界記録：カテリーヌ・デブルナー (スイス) 1° 34' 16" 2023 ベルリン
 日本記録：喜納 翼 (沖縄県) 1° 35' 50" 2019 第39回大分国際
 大会記録：カテリーヌ・デブルナー (スイス) 1° 35' 11" 2023 第42回大分国際
 マニュエラ・シャー (スイス) 1° 35' 11" 2023 第42回大分国際

●T34/53/54 男子

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	1° 18' 31"	3	金 華	25	中国
2	1° 19' 34"	2	鈴木 朋樹	30	埼玉県
3	1° 28' 45"	4	羅 興伝	21	中国
4	1° 28' 52"	6	馬 卓	24	中国
5	1° 28' 59"	10	岸澤 宏樹	28	東京都
6	1° 31' 00"	5	吉田 竜太	43	東京都
7	1° 33' 47"	8	洞ノ上 浩太	50	福岡県
8	1° 34' 41"	19	河室 隆一	51	大分県
9	1° 36' 11"	7	渡辺 勝	32	福岡県
10	1° 38' 11"	9	樋口 政幸	45	千葉県
11	1° 38' 14"	21	松永 仁志	52	岡山県
12	1° 38' 56"	11	ユ・ビョンフン	52	韓国
13	1° 40' 22"	17	吉田 高志	46	大阪府
14	1° 42' 40"	15	フィデル・アギラー・セペダ	47	メキシコ
15	1° 42' 45"	32	用田 竹司	48	京都府
16	1° 42' 46"	35	佐藤 健	41	埼玉県
17	1° 44' 58"	30	ユン・ヒョンジェ	36	韓国
18	1° 47' 23"	54	ジャスティン・パインズ	38	アメリカ
19	1° 48' 15"	23	安岡 チョーク	51	東京都
20	1° 48' 25"	28	マシュー・クラーク	48	イギリス
21	1° 48' 27"	25	ブレット・マッカーサー	59	オーストラリア
22	1° 49' 52"	22	武村 浩生	36	福岡県
23	1° 50' 51"	20	アルフォンソ・サラゴサ	48	メキシコ

世界記録：マルセル・フグ (スイス)
 日本記録：鈴木 朋樹 (東京都)
 大会記録：マルセル・フグ (スイス)

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
24	1° 51' 02"	34	青木 浩	49	長野県
25	1° 51' 16"	48	松永 大護	22	静岡県
26	1° 51' 27"	42	渡邊 敏貴	57	東京都
27	1° 51' 31"	41	山口 悟志	68	愛媛県
28	1° 51' 42"	37	イー・ジョング	21	韓国
29	1° 52' 48"	38	笹原 廣喜	50	大分県
30	1° 54' 56"	45	長崎 和志	44	新潟県
31	1° 54' 59"	39	大西 慶尚	32	兵庫県
32	1° 57' 22"	44	山本 行文	70	熊本県
33	1° 59' 02"	29	ヴァンソン・ジュリアン・ラポー	40	フランス
34	2° 00' 11"	40	佐伯 秋浩	57	愛媛県
35	2° 00' 54"	43	浜田 和成	61	大阪府
36	2° 01' 26"	47	橋爪 淳	62	神奈川県
37	2° 04' 53"	46	西岡 英治	46	愛媛県
38	2° 12' 43"	50	マシュー・デイビス	57	アメリカ
39	2° 14' 52"	51	海野 剛	49	静岡県
40	2° 19' 57"	49	飯塚 裕治	51	島根県
41	2° 28' 10"	27	クリストファー・ワデル	56	アメリカ
42	2° 29' 27"	53	イアン・ローデ	46	オーストラリア
43	2° 33' 01"	55	平澤 三七	75	長野県
44	2° 49' 12"	57	ウィリアム・レアー	66	アメリカ
-	DNF	56	ピーター・ホーキンス	60	アメリカ

1° 17' 47" 2021 第40回大分国際
 1° 18' 37" 2021 第40回大分国際
 1° 17' 47" 2021 第40回大分国際

ハーフマラソン クラス別順位 / Rankings for Half Marathon in each class

●T51 女子 出走者なし

●T51 男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバー No.	氏名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	1° 38' 28"	392	井上 聡	46	愛媛県
2	1° 39' 37"	397	清田 慎也	30	熊本県
3	1° 41' 00"	408	長崎 裕也	42	東京都
4	1° 43' 15"	406	平山 健悟	37	福岡県
5	1° 52' 30"	418	清水 佑太	38	大分県
6	2° 04' 04"	424	甲斐 邦生	54	大分県

大会記録：三浦 尊

(愛知県)

1° 04' 09" 1999 第19回大分国際

●T33/52 女子

順位 Rank	記録 Time	ナンバー No.	氏名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	1° 11' 28"	438	西村 柚菜	22	静岡県
2	1° 15' 09"	426	濱川 愛	35	沖縄県
3	1° 16' 34"	374	田中 照代	65	愛知県
4	1° 23' 40"	377	木山 由加	40	岡山県

大会記録：ジェニー・エリザベット・ルンドブラッド

(スウェーデン) 58' 03" 2002 第22回大分国際

●T33/52 男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバー No.	氏名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	1° 02' 05"	341	松本 直幸	45	福岡県
2	1° 02' 41"	355	ジョナサン・タン	35	オーストラリア
3	1° 05' 24"	358	服部 周恩	41	滋賀県
4	1° 09' 49"	373	赤井 俊之	36	兵庫県
5	1° 16' 09"	365	飯嶋 毅洋	46	大阪府
6	1° 19' 04"	382	安野 祐平	34	鳥取県
7	1° 26' 52"	391	後藤 忠正	69	熊本県
8	1° 29' 23"	394	田湊 寿一	44	大分県
9	1° 31' 02"	396	小出 公典	51	大分県
10	1° 34' 35"	411	中崎 真	55	鹿児島県

大会記録：伊藤 竜也

(福井県)

順位 Rank	記録 Time	ナンバー No.	氏名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
11	1° 35' 47"	402	川久保 一馬	74	佐賀県
12	1° 37' 05"	415	濱田 大星	22	大分県
13	1° 39' 23"	398	比嘉 三男	59	沖縄県
14	1° 43' 20"	413	西島 健一郎	60	熊本県
15	1° 45' 09"	404	矢島 一樹	27	熊本県
16	1° 57' 25"	414	清原 大輝	20	宮崎県
17	2° 04' 39"	421	洲鎌 敏美	67	沖縄県
-	DNF	428	工藤 金次郎	98	徳島県
-	DNF	430	新里 優	71	沖縄県

52' 47"

2023 第42回大分国際

●T34/53/54 女子

順位 Rank	記録 Time	ナンバー No.	氏名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	0° 56' 23"	325	中尾 有沙	37	熊本県
2	1° 02' 36"	346	正木 楓	29	神奈川県
3	1° 08' 09"	348	棚田 優子	62	富山県
4	1° 11' 50"	363	見崎 真未	22	熊本県
5	1° 15' 26"	376	山入端 依子	62	沖縄県

大会記録：土田 和歌子

(東京都)

順位 Rank	記録 Time	ナンバー No.	氏名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
6	1° 16' 03"	386	片平 留依	31	福岡県
7	1° 34' 59"	423	藤光 みどり	38	大分県
8	1° 52' 19"	405	西山 美沙希	24	大分県
9	1° 56' 02"	422	吉川 葉都美	51	茨城県
-	DNF	435	林 早苗	51	栃木県

49' 36"

2000 第20回大分国際

●T34/53/54 男子

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	0° 44' 04"	301	生馬 知季	32	岡山県
2	0° 44' 05"	302	久保 恒造	43	北海道
3	0° 44' 06"	303	佐々木 凜平	28	東京都
4	0° 45' 50"	305	キム・ジョンボム	28	韓国
5	0° 47' 24"	304	西 勇輝	30	東京都
6	0° 48' 06"	307	山口 修平	38	大分県
7	0° 48' 47"	306	廣道 純	50	大分県
8	0° 48' 56"	324	大橋 昭文	39	愛知県
9	0° 50' 47"	308	城間 圭亮	28	沖縄県
10	0° 50' 50"	313	寒川 進	56	京都府
11	0° 50' 52"	310	大津 圭介	57	福岡県
12	0° 51' 11"	309	仲泊 厚志	19	岡山県
13	0° 51' 14"	311	田中 祥隆	49	福岡県
14	0° 52' 46"	429	緋田 高大	29	千葉県
15	0° 54' 03"	322	馬場 達也	35	東京都
16	0° 54' 47"	338	キム・ドユン	19	韓国
17	0° 54' 56"	315	渡邊 幹司	47	広島県
18	0° 54' 58"	318	野村 光義	45	京都府
19	0° 55' 06"	329	中田 真也	46	長野県
20	0° 55' 58"	320	キム・ビョンフン	20	韓国
21	0° 56' 09"	330	笹原 拓歩	24	大分県
22	0° 56' 20"	321	金児 知哉	56	長野県
23	0° 56' 22"	317	山本 秀明	48	広島県
24	0° 56' 23"	323	赤木 哲也	49	広島県
25	0° 58' 02"	342	ユ・ヒョンデ	51	韓国
26	0° 58' 13"	335	櫻井 秀彦	47	静岡県
27	0° 58' 24"	326	松尾 健次	56	佐賀県
28	0° 58' 25"	316	炭谷 延幸	47	福岡県
29	0° 58' 57"	340	イ・ウチャン	29	韓国
30	0° 59' 04"	334	古畑 篤郎	30	東京都
31	0° 59' 19"	327	中井 康彦	45	大阪府
32	1° 00' 01"	332	鈴木 俊光	68	静岡県
33	1° 00' 02"	350	内田 琢馬	22	佐賀県
34	1° 00' 50"	333	渡邊 昭次	47	大分県
35	1° 01' 24"	349	片倉 政人	65	沖縄県
36	1° 01' 40"	336	三浦 智晴	57	大分県
37	1° 02' 36"	433	ジェイコブ・ヘイルヴェイル	54	アメリカ
38	1° 02' 39"	344	藤原 修	61	大分県
39	1° 03' 42"	337	鎌田 成利	42	徳島県
40	1° 04' 14"	368	フゴー・ミュラー	61	スイス
41	1° 05' 29"	353	吉川 勇	71	大分県
42	1° 05' 33"	343	馬本 節男	66	広島県
43	1° 05' 38"	319	小玉 結一	25	宮崎県
44	1° 06' 58"	339	内賀島 守	63	熊本県

大会記録：生馬 知季

(岡山県)

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
45	1° 08' 04"	331	城 隆志	64	大分県
46	1° 10' 54"	441	印具 徹哉	34	福岡県
47	1° 11' 31"	383	大上 克	41	大分県
48	1° 11' 48"	367	マハラジャン・スジャン	29	大分県
49	1° 11' 56"	347	能島 孝洋	42	岡山県
50	1° 12' 48"	364	本田 昌士	47	大分県
51	1° 12' 49"	328	馬場 和也	44	京都府
52	1° 13' 15"	369	前原 彰太郎	34	宮崎県
53	1° 13' 50"	379	高峯 俊	23	熊本県
54	1° 15' 48"	442	杉本 雅樹	60	京都府
55	1° 16' 28"	354	野田 浩二	57	大分県
56	1° 16' 45"	440	和氣 佳汰	14	福岡県
57	1° 19' 29"	378	山入端 清宗	72	沖縄県
58	1° 19' 48"	356	吉村 正年	52	愛知県
59	1° 20' 04"	361	佐藤 隆信	62	大分県
60	1° 20' 04"	403	堤 福仁	17	宮崎県
61	1° 20' 46"	388	荒平 楓	21	鹿児島県
62	1° 21' 15"	360	塩地 優	36	大分県
63	1° 21' 43"	436	根岸 勇気	15	東京都
64	1° 21' 46"	372	宇栄原 和雄	61	沖縄県
65	1° 22' 49"	409	荻堂 盛助	77	沖縄県
66	1° 23' 12"	385	柴田 凌	30	大阪府
67	1° 23' 16"	370	山口 拓	32	愛知県
68	1° 24' 18"	366	新地 亮平	43	鹿児島県
69	1° 25' 06"	375	荒牧 孝幸	74	広島県
70	1° 25' 06"	389	酒井 俊二	71	愛知県
71	1° 27' 28"	351	三浦 久人	32	熊本県
72	1° 29' 27"	384	井崎 英明	55	大分県
73	1° 30' 29"	393	原野 優季	42	佐賀県
74	1° 35' 31"	410	比嘉 諒人	23	沖縄県
75	1° 38' 05"	401	花水 知明	38	大分県
76	1° 40' 51"	437	梶取 春斗	14	大分県
77	1° 43' 51"	416	クリシュナ・ラーजू・チョドリ	42	ネパール
78	1° 46' 55"	407	川添 圭介	40	宮崎県
79	1° 52' 07"	432	シュレスト・プラハド	37	ネパール
80	1° 52' 46"	425	カトリ・ラビンドラ	43	ネパール
81	1° 56' 30"	412	斉藤 竜一	24	大分県
-	DNF	312	豊田 響心	18	岡山県
-	DNF	359	原田 耕一	67	大分県
-	DNF	362	ジェフリー・トラペット	45	オーストラリア
-	DNF	381	ヴィンチ・カヴィッキア	62	スイス
-	DNF	387	辻野 春翔	19	福岡県
-	DNF	395	宮田 実	74	福岡県
-	DNF	439	福元 剛士	22	兵庫県

43' 05"

2023 第42回大分国際

第43回大分国際車いすマラソン 国、都道府県別の出走者数

The 43rd Oita International Wheelchair Marathon The Number of Participants of Countries & Territories

国内参加者 Japanese Participants

都道府県名 Prefecture	マラソン Marathon		ハーフマラソン Half Marathon		合計 Total
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	
北海道			1		1
茨城県				1	1
栃木県				1	1
埼玉県	2				2
千葉県	1		1		2
東京都	4	2	6		12
神奈川県	1			1	2
新潟県	1				1
富山県				1	1
福井県	1				1
長野県	2		2		4
静岡県	2		2	1	5
愛知県			4	1	5
滋賀県			1		1
京都府	1		4		5
大阪府	2		3		5
兵庫県	1		2		3
鳥取県			1		1
島根県	1				1
岡山県	2		4	1	7
広島県			5		5
徳島県			2		2
愛媛県	3		1		4
福岡県	3		9	1	13
佐賀県			4		4
熊本県	1		7	3	11
大分県	2		24	2	28
宮崎県			5		5
鹿児島県			3		3
沖縄県	1	1	9	2	13
計	31	3	100	15	149

海外参加者 Foreign Participants

国または地域名 Country & Territory	マラソン Marathon		ハーフマラソン Half Marathon		合計 Total
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	
オーストラリア (AUSTRALIA)	2	1	2		5
中国 (CHINA)	3				3
フランス (FRANCE)	1				1
イギリス (GREAT BRITAIN)	1	1			2
アイルランド (IRELAND)	1				1
韓国 (KOREA)	4		5		9
メキシコ (MEXICO)	3	1			4
南アフリカ (SOUTH AFRICA)	1				1
スペイン (SPAIN)	1				1
スイス (SWITZERLAND)		2	2		4
アメリカ (U.S.A.)	6		1		7
ネパール (NEPAL)			3		3
計	23	5	13	0	41

クラス別

	マラソン Marathon			ハーフマラソン Half Marathon			合計 Total
	男 Male	女 Female	合計 Total	男 Male	女 Female	合計 Total	
T34/53/54	45	8	53	88	10	98	151
T33/52	7	—	7	19	5	24	31
T51	2	—	2	6	—	6	8
合計 Total	54	8	62	113	15	128	190

参加者（種目集計） Participants

参加者数 Participants	マラソン Marathon		ハーフマラソン Half Marathon		合計 Total	
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female
国内 Japanese Participants 30都道府県	31	3	100	15	131	18
		34		115		149
海外 Foreign Participants 12か国・地域	23	5	13	—	36	5
		28		13		41
合計 Total 13か国・地域	54	8	113	15	167	23
		62		128		190

第43回大分国際車いすマラソン 実施要綱

1 目的

この大会は、日本国内及び外国・地域の身体に障がいのある方が車いすマラソンを通じて、希望と勇気をもって社会に参加する意欲を喚起するとともに、広く県民が障がいのある方についての関心と理解を深めることを目的とする。

2 名称

第43回大分国際車いすマラソン

3 主催

大分県、公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、大分市、大分合同新聞社、社会福祉法人大分県社会福祉協議会、大分県障がい者スポーツ協会

4 公認

世界パラ陸上競技連盟 (World Para Athletics)
(この大会は、WPA Approved Event として公認されている。マラソンについては、国際パラリンピック委員会 (IPC) 選手ライセンス登録が完了し、かつ国際クラスを保持する選手の結果及び記録のみ、WPA の公認対象となる。なお、ハーフマラソンの全結果は、WPA の公認対象ではない。)

5 主管

一般財団法人大分陸上競技協会

6 共催

株式会社大分放送

7 後援

外務省、厚生労働省、スポーツ庁、大分県教育委員会、大分市教育委員会、公益財団法人大分県スポーツ協会、一般社団法人大分県身体障害者福祉協会、社会福祉法人大分合同福祉事業団、社会福祉法人太陽の家、社会福祉法人大分県共同募金会、公益社団法人大分県理学療法士協会、NHK 大分放送局、株式会社テレビ大分、大分朝日放送株式会社、株式会社エフエム大分

8 協賛 (52社・団体)

オムロン株式会社、ソニーグループ株式会社、本田技研工業株式会社、三菱商事株式会社、株式会社デンソー、株式会社本田技術研究所、エフサステクノロジーズ株式会社、新日本製菓株式会社、一般社団法人中村裕パラスポーツサポートミーティング、株式会社大分銀行、株式会社九電工、富士通株式会社、キヤノン株式会社、株式会社シッパス、ジブラルタ生命保険株式会社、清水建設株式会社、公益社団法人大分県薬剤師会、株式会社マルミヤストア、全日本空輸株式会社、全国共済農業協同組合連合会、株式会社別大興産、東京海上日動火災保険株式会社、第一生命保険株式会社、鬼塚電気工事株式会社、ファイテン株式会社、日本郵便株式会社、LINE ヤフー株式会社、西日本電信電話株式会社、社会福祉法人わかば会清流の郷、株式会社ブンゴヤ薬局、株式会社スズキ、新星工業株式会社、日本赤十字社大分県支部、株式会社大鐵、トランスコスモス株式会社、株式会社安川電機、社会福祉法人陽谷福祉会、第一交通産業株式会社、大分第一ホーバードライブ株式会社、柳井電機工業株式会社、株式会社まるまで、大分県プレハブ建築連絡協議会、株式会社 JTB、株式会社太田旗店、株式会社みずほ銀行、平倉建設株式会社、明治安田生命保険相互会社、アドテック株式会社、株式会社三井住友銀行、日本製鉄株式会社、有限会社ピーエムラボ、株式会社佐伯コミュニケーションズ

9 協力

大分県警察本部、陸上自衛隊第41普通科連隊、大分市交通指導員連合会、日本赤十字社大分県支部、大分県立芸術文化短期大学、別府重度障害者センター、社会医療法人恵愛会大分中村病院、医療法人社団唱和会明野中央病院、大分市医師会立アルメイダ病院、医療法人大場整形外科、大分県立病院、社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター、大分県パラスポーツ指導者協議会

10 日時

令和6年11月15日 (金)
13時00分～18時00分 クラス分け (ジェイリーススタジアム)
令和6年11月16日 (土)
9時00分～12時00分 選手受付 (大分県庁舎本館)
(レンブラントホテル)
8時30分～13時00分 クラス分け (ジェイリーススタジアム)
12時15分～13時15分 オープニングアトラクション (ガレリア竹町ドーム広場)
14時00分～14時30分 開会式 (ガレリア竹町ドーム広場)
14時30分～15時00分 パレード (ガレリア竹町ドーム広場⇔セントポルタ中央町)
15時00分～15時30分 有力選手記者会見 (ガレリア竹町ドーム広場)
令和6年11月17日 (日)
8時00分～9時20分 手荷物・生活用車いすの受付 (大分市アートプラザ東側)
8時00分～9時20分 競技用車いすの検定、ロゴチェック (荷場複合公共施設)
8時00分～9時25分 ウォームアップ (大分市役所周辺)
9時25分～9時45分 プレラインアップ (大分市役所周辺)
10時00分 マラソンスタート (大分県庁前)
10時03分 ハーフマラソンスタート (大分県庁前)
13時20分～ 閉会式 (表彰式) (ジェイリーススタジアム)

18時30分～20時30分 交歓の夕べ (レンブラントホテル大分)

11 大会開催の基準等

大会中止基準及び緊急時の対応等は、「第43回大分国際車いすマラソン危機対応マニュアル」に基づき対応する。
なお、雨天時においても原則として競技を実施する。

12 実施種目及びコース

マラソン (42.195km)
大分市内 (国際陸上競技連盟/日本陸上競技連盟公認コース)
ハーフマラソン (21.0975km)
大分市内 (国際陸上競技連盟/日本陸上競技連盟公認コース)

13 参加資格

令和6年11月17日現在、満14歳以上の者で下記の条件を満たす者とする。

【マラソン】

- 国内選手については、身体障害者手帳を所持する車いす使用者、かつ日本パラ陸上競技連盟に登録した者で、主催者が認定した者
- 外国・地域選手については、車いす使用者、かつ各国の国際パラリンピック委員会に加盟した団体、又はそれに該当する団体に登録した者で、主催者が認定した者

【ハーフマラソン】

- 国内選手については、身体障害者手帳を所持する車いす使用者で、主催者が認定した者
- 外国・地域選手については、車いす使用者で、主催者が認定した者

14 参加料

マラソン10,000円、ハーフマラソン3,000円とする。

15 競技規則

World Para Athletics 競技規則 (大会開催日に適用となる最新の WPA 競技規則) 及び別に定める本大会競技注意事項等による。
参加するすべての選手に WPA 競技規則の広告に関する規程が適用される。

16 クラス分け

- マラソン、ハーフマラソンとも、T51、T33/52、T34/53/54の3クラスに分ける。
- クラス分けが必要な選手については、大会前日のジェイリーススタジアムにおいて判定する。なお、この大会で行われるクラス分けは、日本国内では有効であるが、WPA の国際クラスとしては承認されるものではない。

17 ドーピング検査

本大会では、ドーピング検査を実施する。

18 表彰

- マラソン・ハーフマラソンとも男女別・クラス別に1位から3位を表彰する。
- マラソンにおいて一定以上の成績をあげた選手に対して、賞金を授与する。金額については、別に定める。
- 順位決定及び賞金の授与には、WPA における公認や選手登録の有無は影響しない。

19 申込方法

申込方法は以下のいずれかとする。
①公式ホームページの電子エントリーフォームによる申込み。
②参加申込書に必要事項を明記し、顔写真2枚を添付の上、大会事務局あて郵送またはメールにて送付する (当日消印有効。なお、メールによる参加申込書の送付の場合は、顔写真の画像ファイルを1枚添付すればよい)。
※①、②ともに、参加申込みの締切は、令和6年8月31日 (土) までとする。

20 競技中の事故

競技中の事故により負傷した場合、応急処置は主催者において実施するが、治療費は原則として選手の負担とする (健康保険証を持参すること)。

21 選手及び競技運営関係者を対象とする保険への加入

競技中の事故等に備え、主催者において、選手及びスタッフ等を対象とする保険に加入する。保険の内容については、別途示すこととする。

22 個人情報の取扱い

主催者及び大会事務局は個人情報保護に関する法令を遵守する。
なお、取得した個人情報は参加資格の審査、プログラム編成及び作成、応援チラシ等の印刷物の作成、報道機関からの問い合わせ、広報活動、記録発表、並びにその他競技運営に必要な用途に限り利用する。

23 大会事務局

大会事務局は、大分県福祉保健部障害者社会参加推進室内、大分県障がい者スポーツ協会に置く。

所在地 〒870-8501
大分市大手町3丁目1番1号
電話番号 097-533-6006
FAX 097-506-1736
第43回大分国際車いすマラソン事務局メールアドレス
kurumaisu-marathon@pref.oita.lg.jp
第43回大分国際車いすマラソンホームページ URL
www.kurumaisu-marathon.com

第43回大分国際車いすマラソン 危機対応マニュアル

I 趣旨

このマニュアルは、第43回大分国際車いすマラソンの中止基準及び緊急事態発生時の対応について、大会本部、関係者の対応に必要な事項を定めるものとする。

II 大会中止基準

- 大分地方気象台が、大分市に警報(大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪、高潮)を発表したとき又は発表するおそれがあるとき。
- 県内で震度6弱以上の地震を観測し、大分県に災害対策本部が設置されたとき。
- 県内に津波警報(大津波)が発表され、大分県に災害対策本部が設置されたとき。
- その他の災害で大分県に災害対策本部が設置されたとき。
- コース上で大規模な事故、事件、火災、ガス漏れ、水道管破裂、道路陥没、停電等により、レース運営に支障を来す事案が発生したとき。
- 全国瞬時警報システム(Jアラート)が発令され安全確保ができないとき。
- 国内で大災害が発生したとき、又は社会的に大きな事件等大会の開催が困難となる事案が発生したとき。
- ただし、上記(1)~(7)の場合であっても、大会会長が実施可能と判断し、大会を開催する場合がある。

III 判断方法(レース前)

大会事務局により、下記の日程で開催検討会議を逐次実施し開催の可否について検討する。

なお、検討にあたっては、大会技術代表及び競技役員総務の意見を反映すること。

- レース7日前
- レース前日 午前10時
- レース当日 午前4時

最終決定は開催検討会議の結果をふまえ、大会会長が判断する。

IV 緊急事態発生時の対応

レース前日及びレース当日に緊急事態が発生し、又は発生するおそれがある場合は、大会本部及び関係者において、事態に対処するものとする。

(1)想定される緊急事態の種類

事象の態様	種別
自然災害	①風雨・落雷 ②地震 ③津波 ④噴火 ⑤その他大規模な災害
大規模な事件等	⑥弾道ミサイル発射 ⑦爆破 ⑧無差別テロ ⑨毒劇物散布(異臭騒ぎ含む) ⑩各事案の予告 ⑪不審物(者)の発見 ⑫パニック
大規模な事故	⑬爆発 ⑭火災 ⑮ガス漏れ ⑯水道管破裂 ⑰道路陥没 ⑱停電

(2)対応行動

緊急事態が発生した場合は、迅速かつ確に以下の措置を講ずる。

ア 大会関係者等への情報伝達と避難準備

大会本部は大会関係者等に対し、発生した緊急事態を正確に伝えるとともに、混乱をきたさないよう、場内放送、無線及び携帯電話による周知、大会協力者の口頭、その他あらゆる手段により、大会関係者等に対して周知を図り、必要に応じて避難準備等を促すものとする。

イ 選手及び観客への情報伝達と避難準備

緊急車両、最終通告車等によるアナウンス並びにコース付近での大会協力者の口頭など、その他あらゆる手段により選手及び観客に対して周知を図り、必要に応じて避難準備等を促すものとする。

ウ 救護活動

負傷者が発生した場合は、可能な範囲で身元確認に努めるとともに、安全な場所に誘導し、到着した消防(救急隊)に引き継ぐものとする。

エ 避難誘導及び残留者の確認

避難誘導に際しては、避難行動の支障となる物品を撤去し、安全確保対策を行うとともに、自らの行動に制約のある障がい者、乳幼児等、避難行動要支援者に配慮を行いながら、誘導するものとする。

なお、避難誘導中に負傷者又は逃げ遅れた者を発見した場合は、大会関係者が相互に連携し、救護又は誘導に努めるとともに、対応が不可能と判断した場合は、速やかに警察・消防に引き継ぐものとする。

オ スタート後のレース中止による選手の収容

コース上の選手を収容し、収容車ほかコース配置車両を総動員してジェイリーススタジアム又は大会本部が指定する場所に帰着させる。

第43回大分国際車いすマラソン競技注意事項

本大会は、World Para Athletics 競技規則(大会開催日に適用となる最新のWPA 競技規則)及び競技注意事項等により実施する。

■競技注意事項

- 本大会は、マラソン、ハーフマラソンを実施する。
- マラソンとハーフマラソンのスタートは、時間差スタートとし、時間差は3分とする(男女共通)。
- 競技者は、衣類及び車いすについて、WPA 競技規則の広告に關する規程を遵守しなければならない。
- 競技者は、スタートラインからフィニッシュラインまで、コース内の決められた走路を走行する。
- 競技者は競技役員(監督)の許可を得て、かつその監督下にある場合は、コースを離れたことにより走行距離が短くならないことを条件に示されたコースを離れることができる。
- 本大会では、種目(マラソン・ハーフマラソン)、クラス又は性別の異なる選手の背後を5m以内の距離で追走する行為(ドラフティング)を禁止する。
- 競技者が走行中に他の競技者の走行を故意に妨害した場合は、失格とする。
- 競技者は、ヘルメットを着用しなければならない。ヘルメットは外殻が固く、保護性に優れ、国際安全基準(スネル規格 b-84/90/95、BSI6863、EN1078等)を満たしていなければならない。
- 競技者が走行中に転倒した場合は、競技役員及び警察官による介助のみ受けられる。ただし、競技者に有利になるような介助は受けてはならない。
- 競技中における車いす修理の援助は原則行わない。また、修理に必要な器具等の提供、貸与は行わない。
- 審判長または医師から中止を命じられた競技者は、直ちに競技を中止しなければならない。
- 競技者は、競技役員及び警察官の指示に従わなければならない。
- 競技者は競技中、下肢のいかなる部分も地面又はトラックに接触してはならない。
- クラス分けについては、別紙の国際クラス分け表による。
- 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。なお、日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。
- 関門の制限時間を次のとおり設ける。
(マラソンの部)
第一関門(約3km).....20分00秒(10時20分00秒)
15km地点.....1時間00分00秒(11時00分00秒)
25km地点.....1時間45分00秒(11時45分00秒)
35km地点.....2時間25分00秒(12時25分00秒)
フィニッシュ地点.....3時間00分00秒(13時00分00秒)
(ハーフマラソンの部)
第一関門(約3km).....20分00秒(10時23分00秒)
10km地点.....57分00秒(11時00分00秒)
15km地点.....1時間45分00秒(11時45分00秒)
フィニッシュ地点.....2時間07分00秒(12時10分00秒)
制限時間を越えた競技者は、関門に到達していなくても、直ちに収容車に収容する。
- 水の供給については、次のとおりとする。
(1) 給水所を次のとおり設ける。
マラソンの部.....7km(26km地点を兼ねる)、13km(31kmを兼ねる)、18km(36km地点を兼ねる)地点付近
ハーフマラソンの部...7km、13km地点付近
(2) 主催者が用意するものは水だけとし、その他の飲料は用意しない。
(3) 競技者は、主催者が設けた各給水所以外で他人から飲食物やスポンジなどを受け取った場合は、失格とする。なお、主催者が設けた場所では、競技役員から手渡しで給水を受け取ることは可能とする。
(4) 各給水所にて、競技者に対する霧吹きによる水の噴霧を行う。希望する競技者は各給水所にて競技役員に申し出ることとし、噴霧は競技役員が行い、各給水所以外の場所では行わない。
- 車いすについては、次のとおりとする。
(1) 車いすは2つの大きな車輪と1つの小さな車輪から成るものとし、小さな車輪は、車いすの前方になければならない。
(2) すべての車いすは、安全の目的から、機能的な(制動制御)ブレーキシステムを備えていなくてはならない。
(3) 車いすのフレームのいかなる部分も前輪の車軸を超えて前方に突き出ているはならず、さらにフレームおよびその付属品の幅はリムの傾斜面より広くてはならない。車いすフレーム底部の地面からの高さは、50cm以内とする。
(4) 車いすのいかなる部分も後輪の最後部を結んだ垂直面から後方に突き出ているはならない。
(5) 後輪、前輪の直径は十分に空気を入れたタイヤを含んでそれぞれ70cm、50cmを超えてはならない。
(6) 各大輪には平らで円形のプッシュリムをただ1つ付けることができる。ただし、この規則は選手受付時に実施するクラス分けの結果と技術代表の判断があれば、片腕で車いすを操作する競技者のためにこの規則を変更できる。
(7) 車いすを推進するいかなる機械的ギアやレバーも使用してはならない。
(8) トラック及び道路競技ではミラーの使用を禁止する。
(9) 機械的操縦装置は腕で操作するもののみ認める。

(別紙) 国際クラス分け表

- (10) 競技者は前輪を手動で左右に動かすことができなければならない。
- (11) フェアリングの使用又は空気力学的な能力を向上させるように特別に設計された車いすやそれに類似した装置の使用は禁止する。
- (12) 車いすは招集場で測定を受ける。いったん検査を受けた車いすであっても、競技開始前または終了後に競技役員が再検査することがある。
- (13) 前述の全ての規則に従うのは競技者の責任であり、いかなる競技も競技者が車いすを調整するために遅れることがあってはならない。
- (14) 車いす後部に転倒防止を目的としたキャストの取り付けについて、ハーフマラソンに出場する T51クラスのみ、取り付けを認める。
- 19 アスリートビブス (旧ナンバーカード) について
アスリートビブスは配布された形で着用しなければならず、切ったり折りたたんだりあるいはいかなる方法でも見えなくしてはならないが、風通しをよくする目的で、文字や数字の部分避けて穴をあけることは可能とする。
- 20 撮影機器について
競技者は、競技区域内に小型カメラ、携帯電話等の撮影が可能な機器 (静止画、動画問わず) を持ち込んではいない。競技区域内とは、ウォーミングアップ区域及びプレラインアップからフィニッシュエリア (芝生内) までの区域を指す。ただし、TDの許可を得た場合を除く。
- 21 下記については、助力行為とみなさず許す可。
身体保護及び/あるいは医療目的のあらゆる身体保護具 (包帯、絆創膏、ベルト、支持具、冷却機能付きリストバンド、携帯用酸素ボンベ等の呼吸器具。ただし、医療目的の身体保護具については予め競技役員の許可を得ること。)
競技者本人が携帯もしくは着用して使用する心拍計、速度・距離計、ストライドセンサー、その他類似の機器。ただし、他者との通信に使用不可能なものに限る。

T51

このクラスの選手は通常、肘関節屈曲、手関節背屈の筋力がグレード5あり、肩関節の筋は筋力低下がみられ、特に大胸筋や上腕三頭筋の筋力はグレード0～3である。通常、体幹の筋力は機能しない。肘関節の屈筋と、手関節の背屈筋を用いて駆動する。膝の上に頸を置いて、体幹を真っすぐにして座っている。脊髄損傷の神経残存レベルC5～6レベルと同等の活動制限がある。

T33/52

T33

四肢麻痺、三肢麻痺、重度の片麻痺—中等度 (非対称性または対称性) の四肢麻痺、またはより機能の良い側の障害上肢にほぼ完全な筋力があり車いすを使用する重度の片麻痺。選手がより機能の良い側の障害上肢にほぼ完全な機能を持つ片麻痺か三肢麻痺の状態を呈しない限り、このクラスにアテトーゼの選手が含まれることは稀である。自立して車いすを推進することができる。

上肢—少なくとも障害のある上肢は伸展とフォロースルーの制限がある痙性グレード2の中等度の制限。障害のある手が円筒状と球状の握りを示すことがある。

体幹—車いすを力強くプッシュする時、前方への体幹の動きは、伸展痙性によってしばしば制限される。痙性グレードは2。

下肢—痙縮グレード3～4。いくつかの明らかな機能が、トランスファー時に観察することができる。介助または歩行支援用具を使って歩行ができるかもしれないが、短距離のみである。

T33とT34の違いは、車いす駆動時の体幹の動きと、手の機能が重要である。もしも、駆動動作時に、すばやい体幹運動を使うこと、または上肢運動の明らかな非対称性、もしくは握りとリリースに非常に貧しい能力を示した場合は、クラスT33である。

片上肢で車いすを駆動する場合、ロングストロークや素早い握り、リリースを行っていても、T33である。

T52

このクラスの選手は通常、肩・肘・手関節の筋力は正常である。手指屈伸筋力は手内筋の萎縮を伴って正常ではない。駆動には肩・肘・手関節を用いている。通常、体幹筋力は機能しない。T53、T54のクラスと同じようなグローブテクニックを用いる場合もある。脊髄損傷の神経残存レベルC7～8と同等の活動制限がある。

T34/53/54

T34

両麻痺—中等度から重度。上肢と体幹の障害 (制限と問題) は最小限で機能は良好。

上肢—上肢は、多くの場合、正常の機能を示す。関節可動域の最小限の制限があるが、ほぼ正常なフォロースルーが可能で、投げたり、駆動もほぼ正常である。手の機能は正常で、すべてのスポーツで見られるように、つかみや握りが可能である。制限があるとすれば、早く細かい運動で見られる。両麻痺は上肢よりも下肢の方がより痙性が強い。痙性グレード1～2。手、上肢、体幹を機能的に動かすことが可能である。

体幹—痙縮グレード1～2。車いす駆動時の体幹の動きは最小限の制限。いくつかの選手は疲労で痙性が増強することもあるが、適切なポジショニングで克服することができる。立位時、バランスは補助器具を使用しても不良 (poor) である。

下肢—中等度から重度。両下肢とも痙性グレードは3～4。通常、補助具を使用せずに長距離歩行はできない。車いすの駆動では長く、力強い駆動、素早い把持とリリースが可能である。しかし、手の細かい動きが影響を受けるかもしれない。駆動時に、これらの細かい動きは必須ではない。体幹の前方および後方の強い動きは、上肢のストロークをサポートしている。これらの体幹運動が起こらない場合には、体幹はバランスが取れており、上肢の動きのための安定性を提供している。車いすは曲線を走行する時、体幹はバランスを崩すことはない。

T53

このクラスの選手は、正常な上肢機能を持ち、腹筋と下部の背筋は機能しない。腹筋の機能を補うために、体幹を水平に近づけるといった様々なテクニックを用いる。一般的に加速の時には、体幹を下方に保持しておくための腹筋の機能がいないため体幹は膝から離れて起きる；駆動中、下方への自動的な体幹の運動はみられない。大抵の場合、代償機能を調整するために駆動サイクルは制限される。脊髄損傷の神経残存レベルT1～7と同等の活動制限がある。

T54

このクラスの選手は、正常な上肢筋力を持ち、体幹をコントロールする能力は部分的なものから正常までの幅を持っている。このグループの選手の中には有効な下肢の筋力を持っている選手もいることがある。リムに駆動の力が加えられた時に、体幹を下方に保持するための正常な体幹コントロールができる。大抵の場合、駆動時のサイクルはスムーズである。

車いす上で身体を起き上がり、回旋する筋力を加えることによって車いすの方向転換をすることができる。脊髄損傷の神経残存レベルT8～S4レベルと同等の活動制限がある。

(※) 上記は、日本版クラス分けマニュアルから抜粋したものであり内容が一部異なる場合があります。詳しくは、日本パラ陸上競技連盟ホームページにて最新版をご参照になるか、大会事務局までお問い合わせください。

<http://jaafd.org/contents/code/committee3>

【第43回大会役員】(Executive Committee Members)

大会会長	大分県知事		佐藤 樹一郎
副会長	大分県副知事		尾野 賢治
副会長	公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会	会長	森 和之
副会長	一般社団法人日本パラ陸上競技連盟	会長	増田 明美
副会長	大分市長		足立 信也
副会長	大分合同新聞社	代表取締役社長	長野 景一
副会長	社会福祉法人大分県社会福祉協議会	会長	佐藤 章
副会長	大分県障がい者スポーツ協会	会長	佐藤 章
顧問	オムロン株式会社	代表取締役社長 CEO	辻 永順太
顧問	一般財団法人大分陸上競技協会	会長	小手川 強二
顧問	株式会社大分放送	代表取締役社長	猪俣 知三
顧問	大分県教育委員会	教育長	山田 雅文
顧問	大分市教育委員会	教育長	粟井 明彦
顧問	公益財団法人大分県スポーツ協会	会長	麻生 益直
顧問	一般社団法人大分県身体障害者福祉協会	会長	佐藤 一夫
顧問	社会福祉法人大分合同福祉事業団	理事長	長野 健夫
顧問	社会福祉法人太陽の家	理事長	山下 達夫
顧問	大分県警察本部	本部長	種田 英明
顧問	陸上自衛隊第41普通科連隊	連隊長	小林 直基
参与	大分県土木建築部	部長	五ノ谷 精一
参与	大分県警察本部交通部	部長	後藤 和樹
参与	大分市土木建築部	部長	姫野 正浩
参与	公益財団法人日本パラスポーツ協会	常務理事	藤原 正樹
参与	大分合同新聞社	取締役	児玉 真路
参与	別府重度障害者センター	所長	下山 敬寛
委員長	大分県福祉保健部	部長	工藤 哲史
副委員長	大分市福祉保健部	部長	斉藤 修造
副委員長	大分合同新聞社	常務執行役員	青木 貴史
副委員長	一般財団法人大分陸上競技協会	専務理事	稲津 喜英
委員	大分県教育庁	参事監兼体育保健課長	佐保 宏二
委員	大分県警察本部交通部	交通規制課長	井上 淳司
委員	大分県警察本部交通部	参事官兼交通機動隊長	得本 誠良
委員	大分中央警察署	署長	足達 竜二
委員	大分東警察署	署長	原田 克宣
委員	大分市福祉保健部	次長兼障害福祉課長	三原 徹
委員	大分市企画部スポーツ振興課	次長兼スポーツ振興課長	村田 潤
委員	大分合同新聞社	営業部長	小野 敦司
委員	株式会社大分放送	営業局長	森 永尚史
委員	一般財団法人大分陸上競技協会	総務委員長	原 俊介
委員	大分県パラスポーツ指導者協議会	会長	池部 純政
委員	別府重度障害者センター	運動療法士長	木畑 聡
委員	大分身体障害者陸上競技協会	会長	廣道 純
委員	通訳ボランティア Can-do	代表	後藤 恵子
委員	大分中村病院	リハビリテーション科統括部長	黒木 洋美

【世界パラ陸上競技連盟】(World Para Athletics)

Technical Delegate (技術代表) 宮田 英明 (WPA 派遣)

【競技役員】(Race Officials)

(◎は主任)

総務	稲津 喜英			
総務員	原 俊介	上杉 貴志	森 幹生	泥谷 和幸
	古庄 英之	安部 明美	石橋 壽利	町野 宏
JPA - NTO	中深明日香 (JPA 派遣)	石場 治 (JPA 派遣)	伊藤 明久 (JPA 派遣)	
	宮本 智 (JPA 派遣)	清水 俊夫 (JPA 派遣)		
技術総務	◎石橋 壽利	泥谷 和幸	町野 宏	
国際道路コース計測員	苅込 英昭 (JAAF 派遣)			
ジュリー	中島 剛 (JPA 派遣)	岡松 眞明	船越 武典	工藤 啓記
	廣末 敬 (JTOs)			
審判長	小俣 秀之 (マラソン)	原 俊介 (ハーフ)		
監察員	◎洲 俊伸 (監察車③)	渡邊 仙蔵 (監察車①)	小山 建 (監察車①)	森崎 宣和 (監察車②)
	仲摩 勝春 (監察車④)	阿南 憲治 (監察車⑤)	金丸 和浩 (監察車⑥)	桑原 昇造 (監察車⑦)
	染矢 睦 (監察車⑧)	佐藤 敏郎 (監察車⑨)	井上 啓司 (監察車⑨)	
決勝審判員 (マラソン・ハーフ)	◎円本 宗秋	下城 重喜	榮木 一	石井知由美
計時員 A	◎栗林 敏勝	油布 晋一		
計時員 B (マラソン・ハーフ)	◎西村 義弘	財津 廣記		
写真判定員	◎志賀 哲哉	三代 照良		
トランスポンダー	◎渡邊 健太	長野雄一郎		
スターター	◎田中 繁	瀧口登志朗		
記録員	◎伊藤 雅則	中畑千恵子	工藤 啓記 (兼)	増村 栄彦
報道係	◎大西 竜一	徳光 久	堤 紘一	竹丸由香里
	田中 義博			
競技者兼出発係	◎大成 千草 (マラソン)	坂本 智美	日隈 枝里	河野 富穂
	添田 順子	安東 寿子	近藤めぐみ	梶原 清美
	高司 悠佑	酒井 宏	下田 法子	赤崎 惣
	衛藤 憲一	吉田 研		
	◎三宅美智子 (ハーフ)	財津美紀夫	阿部 光佳	園田 明美
	柳井 幸子	小野 誠司	長野真由美	大谷 夏稀
	高森 京子			
海外競技者係	◎丸尾 直彦	衛藤 昭	長野由美子	徳谷 晃一
気象計測員	◎橋本 孝之	大成 忍	羽田野二郎	
役員係	◎安部 明美	藤井 宗隆	小間 敏子	内田 貞美
	河津 麻希			
マーシャル兼出発係	◎中野 明美	佐藤 慎司	河野 勝彦	西 親則
	明石 哲也	中村 健治	中野 実希	
用器具係	◎櫻井 貢	柴山 廣	大戸 功雄	森本 秀治
収容者係	◎江藤 輝幸	日名子義生	三嶋 一哲	吉原誠一郎
医務係(医務班)	◎坂本真由美	工藤 武子	梶原 進一	中西 千夏
医務係 (本部連絡・調整班)	◎田崎 弘宣	三浦 真子		
放送係	◎三代 寿子 (JADA 派遣)	諫山 夏子		
ドーピング コントロールオフィサー				
シャペロン	◎首藤 昭光	伊東 清信	日高 千紘	
医療統括責任者	黒木 洋美 (社会医療法人)	恵愛会 大分中村病院	リハビリテーション科統括部長)	
クラス分け委員 (JPA 派遣)	◎高原由美子	横前 直樹	中田 淳一	廣川 知子
	植原 史恭	三浦 幸治	浅沼 満	中村 義和
	山崎 直美	宇都宮 淳	北村麻衣子	

関門役員

マラソン第一関門	◎小俣賢二郎	上久保 晃		
ハーフ第一関門	◎後藤 和久	瀧石 裕一		
マラソン 5 km	◎野田 浩	平山 勝治		
ハーフ 5 km	◎宅野 成喜	濱崎義日出		
第一・第三折返し点	◎大戸 貴博	藤田 義昭	神田康太郎	
マラソン10km	◎渡邊 和也	坂巻 諄	井上 達夫	
ハーフ 10 km	◎諸田 義信	後藤 信徳	川野 恵子	
ハーフ第二折返し点	◎竹内 邦弘	染矢 雄二	甲斐 正寿	
マラソン15km	◎甲斐 強	田川 紀明	川下喜代人	川上 愛佳
ハーフ 15 km	◎村西 栄二	後藤 信介	高瀬 政寛	
マラソン20km	◎吉川 正文	須磨 長愷	新宮 真二	高司浩一郎
ハーフ 20 km	◎明石 敦郎	川野奈緒美	内藤 總	糸永 泉
マラソン中間点	◎鳥倉 秀聖	戸曾 正博		
マラソン25km	◎杉本 和之	後藤 大輔	浅野佳代子	今永知栄美
	大塚 尚輝			
マラソン第二・第四折返点	◎西山 祐一	鳴海さくみ	河津 智顕	後藤 賢也
マラソン30km	◎足立 達哉	東本 孝	立川三枝子	
マラソン35km	◎板井 新一	松浦 利美	奥下 美保	柴田 順子
マラソン40km	◎柴北 育昌	上久保陽子	工藤 早苗	未延 栞

給水係

7 km・26 km	◎宮脇 清夫	津々見真一	矢幡 俊典
13 km・31 km	◎横濱 正	姫嶋 検次	
18 km・36 km	◎猪俣正七郎	箕河原 幹	吉村 孝義
	◎武石 弘志		

走路審判員

◎三上 忠明	◎宮川喜久生		
スタート地点付近	◎三上 忠明	後藤 博文	後藤 修一
	榎木野愛理	山口 美利	秦 卓司
	沖田 磨依	佐藤 公輝	佐藤 信浩
	椿 宗馬	仲築間美樹	
	町野 宏 (兼)	伊藤由紀子	羽田野明美
	飯干 順一		
	仲築間 寛	川崎 徹也	
	光延 慎一	貴田愛里紗	
	佐藤 重康	重石 拓郎	
	甲斐 浩嗣	副田 博文	
	佐藤 陽子	末崎 七実	
	仲摩 昇	長野 省吾	
	川上 末喜	平野 勇太	
	熊谷 明	古木 春名	野田 真央
	藤井亜希子		
	◎宮川喜久生	江頭 郁代	小林 臣将
	古木 羽純	姫野 敏郎	
	松崎 安男	後藤こずえ	福田 悠莉
	御手洗利彦	高司 龍二	
	岩尾 雅弘	渡邊 利彦	
	畑野 新司	岳尾 元勝	
	幸松 昌則		
	倉野 浩成	高橋孝一郎	
	高瀬 亮太	新貝 隆	
	吉田 盛一	小野 長次	板井 朗
	木之下翔太		
	高瀬 哲生		
	松野 孝治		
	安心院久嗣	首藤 晴美	久保 裕治

走路審判補助員

◎山内 秀人	◎小野 覚	池田 秀信	岩本 照子
スタート地点付近	小野あさ枝	阿部美紀子	小野 寿永
	久々宮英輝	後藤 裕	佐藤 文男
	百武 正伸	匹田 忠	房前 秀治
	宮崎 早苗	森川 洋明	山内 秀人
	山田 等	山根 義弘	渡辺 朝則
	竹繁 勇	竹繁 政江	草野扶美子

第43回大分国際車いすマラソンスケジュール

時刻	11月16日 (土)	11月17日 (日)
8:00		00 ウォームアップ開始
9:00	00 選手受付 (大分県庁舎本館) (レンブラントホテル)	25 選手プレラインナップ開始 35 交通規制開始 57 スタート地点ラインナップ完了
10:00		00 マラソンスタート 03 ハーフマラソンスタート
11:00		45 ハーフ トップフィニッシュ見込 20 マラソン トップフィニッシュ見込
12:00	00	10 ハーフ フィニッシュ地点閉鎖
13:00	15 オープニング アトラクション (ガレリア竹町 ドーム広場)	00 マラソン フィニッシュ地点閉鎖
	15	20 閉会式(表彰式) (ジェイリーススタジアム)
14:00	00 開会式 (ガレリア竹町ドーム広場)	20
	30	
	30 パレード (ガレリア竹町ドーム広場⇄セントポルタ中央町)	
15:00	00 有力選手記者会見 (ガレリア竹町ドーム広場)	
	30	
16:00		
17:00		
18:00		
19:00		30 交歓の夕べ (レンブラントホテル大分)
20:00		30
21:00		

開会式次第

令和6年11月16日(土) ガレリア竹町ドーム広場

時刻	式次第	備考
12:15	オープニングイベント	オープニングアトラクション「ゆるくてあそび心あふれるインクルーシブ社会へ」
14:00	開式通告	ファンファーレ
14:01	大会会長あいさつ	大会会長 大分県知事 佐藤樹一郎
14:06	地元市長あいさつ	大会副会長 大分市長 足立信也
14:11	来賓あいさつ	
14:16	主催者・来賓紹介	
14:19	選手宣誓	
14:24	閉式通告	

スタート次第

令和6年11月17日(日) 大分県庁前

時刻	式次第	時刻	式次第
8:00	1 ウォームアップ開始	9:50	6 スタート地点選手誘導開始
9:25	2 ウォームアップ終了	9:57	7 選手ラインアップ完了
9:25	3 選手プレラインナップ開始	10:00	8 マラソンスタート
9:35	4 スタート地点交通規制開始	10:03	9 ハーフマラソンスタート
9:45	5 選手プレラインナップ完了		

閉会式次第

令和6年11月17日(日) ジェイリースタジアム

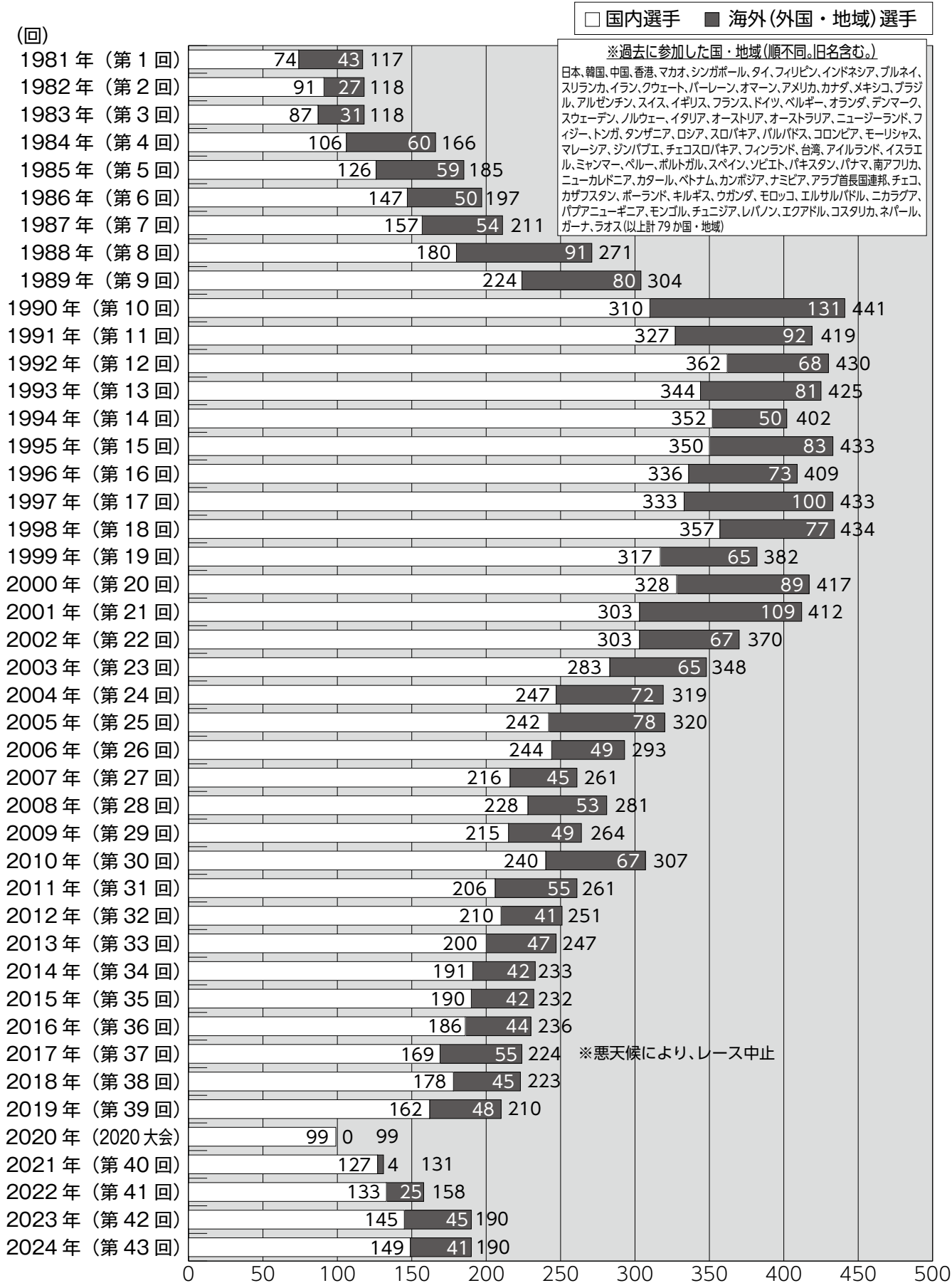
時刻	式次第	備考
13:20	開式通告	ファンファーレ
13:21	成績発表(ハーフマラソンの部)	ハーフマラソン審判長
13:26	表彰(ハーフマラソン) 男子T51 女子T33/52 男子T33/52 女子T34/53/54 男子T34/53/54	表彰者 大会役員・来賓
13:40	成績発表(マラソンの部)	マラソン審判長
13:46	表彰(マラソン) 男子T51 男子T33/52 女子T34/53/54 男子T34/53/54	表彰者 大会役員・来賓
14:15	大会会長あいさつ	大会会長 大分県知事 佐藤樹一郎
14:19	閉式宣言	ファンファーレ
14:20	閉式通告	

交歓の夕べ

令和6年11月17日(日) レンブラントホテル大分

時刻	式次第	備考
18:30 20:30まで	あいさつ・乾杯 歓談	

参加者数の推移



□ 国内選手 ■ 海外(外国・地域)選手

※過去に参加した国・地域(順不同。旧名含む)。
 日本、韓国、中国、香港、マカオ、シンガポール、タイ、フィリピン、インドネシア、ブルネイ、スリランカ、イラン、クウェート、バーレーン、オマーン、アメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、スイス、イギリス、フランス、ドイツ、ベルギー、オランダ、デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、イタリア、オーストリア、オーストラリア、ニュージーランド、フィジー、トンガ、タンザニア、ロシア、スロバキア、バルバドス、コロンビア、モリシャス、マレーシア、ジンバブエ、チェコスロバキア、フィンランド、台湾、アイルランド、イスラエル、ミャンマー、ペルー、ポルトガル、スペイン、ソビエト、パキスタン、パナマ、南アフリカ、ニューカレドニア、カタール、ベトナム、カンボジア、ナミビア、アラブ首長国連邦、チェコ、カザフスタン、ポーランド、キルギス、ウガンダ、モロッコ、エルサルバドル、ニカラグア、バブアニューギニア、モンゴル、チュニジア、レバノン、エクアドル、コスタリカ、ネパール、ガーナ、ラオス(以上計79か国・地域)

※悪天候により、レース中止

※43回までの参加延べ人数[国内選手9,774人/海外(外国・地域)選手2,592人=合計12,366人](37回含む)

年/大会		国内									参加 都道府 県数
		ハーフマラソン			マラソン			合計			
		男	女	小計	男	女	小計	男	女		
1981年	第1回大会	72	2	74			0	72	2	74	14
1982年	第2回大会	86	5	91			0	86	5	91	19
1983年	第3回大会	42	4	46	40	1	41	82	5	87	22
1984年	第4回大会	60	2	62	41	3	44	101	5	106	26
1985年	第5回大会	79	2	81	44	1	45	123	3	126	27
1986年	第6回大会	91	5	96	49	2	51	140	7	147	25
1987年	第7回大会	84	4	88	66	3	69	150	7	157	29
1988年	第8回大会	101	7	108	71	1	72	172	8	180	26
1989年	第9回大会	117	13	130	92	2	94	209	15	224	36
1990年	第10回記念大会	155	20	175	130	5	135	285	25	310	41
1991年	第11回大会	173	19	192	130	5	135	303	24	327	41
1992年	第12回大会	199	23	222	136	4	140	335	27	362	43
1993年	第13回大会	183	15	198	143	3	146	326	18	344	43
1994年	第14回大会	186	14	200	148	4	152	334	18	352	43
1995年	第15回大会	176	10	186	161	3	164	337	13	350	43
1996年	第16回大会	164	10	174	160	2	162	324	12	336	44
1997年	第17回大会	168	15	183	147	3	150	315	18	333	43
1998年	第18回大会	173	16	189	165	3	168	338	19	357	43
1999年	第19回大会	165	15	180	134	3	137	299	18	317	42
2000年	第20回記念大会	172	16	188	136	4	140	308	20	328	40
2001年	第21回大会	162	15	177	122	4	126	284	19	303	40
2002年	第22回大会	162	15	177	123	3	126	285	18	303	41
2003年	第23回大会	161	12	173	104	6	110	265	18	283	37
2004年	第24回大会	131	11	142	101	4	105	232	15	247	39
2005年	第25回大会	123	14	137	103	2	105	226	16	242	39
2006年	第26回大会	146	13	159	83	2	85	229	15	244	39
2007年	第27回大会	128	12	140	73	3	76	201	15	216	36
2008年	第28回大会	136	14	150	76	2	78	212	16	228	38
2009年	第29回大会	136	11	147	66	2	68	202	13	215	37
2010年	第30回記念大会	144	13	157	81	2	83	225	15	240	37
2011年	第31回大会	128	7	135	68	3	71	196	10	206	37
2012年	第32回大会	134	7	141	64	5	69	198	12	210	37
2013年	第33回大会	131	10	141	55	4	59	186	14	200	37
2014年	第34回大会	128	11	139	49	3	52	177	14	191	32
2015年	第35回大会	133	12	145	43	2	45	176	14	190	32
2016年	第36回大会	141	11	152	33	1	34	174	12	186	31
2017年	第37回大会※	127	7	134	33	2	35	160	9	169	31
2018年	第38回大会	130	10	140	37	1	38	167	11	178	29
2019年	第39回大会	111	11	122	37	3	40	148	14	162	29
2020年	2020大会	73	4	77	20	2	22	93	6	99	23
2021年	第40回記念大会	94	9	103	23	1	24	117	10	127	26
2022年	第41回大会	101	10	111	20	2	22	121	12	133	30
2023年	第42回大会	98	14	112	31	2	33	129	16	145	29
2024年	第43回大会	100	15	115	31	3	34	131	18	149	30
大会合計		5,704	485	6,189	3,469	116	3,585	9,173	601	9,774	

※第37回大会は悪天候により、レース中止

年／大会		海外									海外参加国数
		ハーフマラソン			マラソン			合計			
		男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	
1981年	第1回大会	38	5	43			0	38	5	43	13
1982年	第2回大会	24	3	27			0	24	3	27	12
1983年	第3回大会	14	1	15	14	2	16	28	3	31	13
1984年	第4回大会	25	3	28	26	6	32	51	9	60	21
1985年	第5回大会	33	5	38	20	1	21	53	6	59	19
1986年	第6回大会	24	3	27	20	3	23	44	6	50	18
1987年	第7回大会	22	3	25	25	4	29	47	7	54	19
1988年	第8回大会	44	14	58	31	2	33	75	16	91	30
1989年	第9回大会	30	14	44	34	2	36	64	16	80	24
1990年	第10回記念大会	43	17	60	65	6	71	108	23	131	36
1991年	第11回大会	43	8	51	38	3	41	81	11	92	32
1992年	第12回大会	33	7	40	26	2	28	59	9	68	29
1993年	第13回大会	43	3	46	32	3	35	75	6	81	31
1994年	第14回大会	26	5	31	17	2	19	43	7	50	26
1995年	第15回大会	39	10	49	31	3	34	70	13	83	41
1996年	第16回大会	33	8	41	30	2	32	63	10	73	32
1997年	第17回大会	40	8	48	46	6	52	86	14	100	27
1998年	第18回大会	31	9	40	32	5	37	63	14	77	26
1999年	第19回大会	31	3	34	30	1	31	61	4	65	25
2000年	第20回記念大会	47	7	54	28	7	35	75	14	89	29
2001年	第21回大会	49	6	55	46	8	54	95	14	109	27
2002年	第22回大会	26	5	31	33	3	36	59	8	67	26
2003年	第23回大会	21	3	24	36	5	41	57	8	65	19
2004年	第24回大会	24	8	32	36	4	40	60	12	72	17
2005年	第25回大会	26	9	35	40	3	43	66	12	78	19
2006年	第26回大会	16	5	21	24	4	28	40	9	49	15
2007年	第27回大会	14	2	16	25	4	29	39	6	45	14
2008年	第28回大会	15	1	16	30	7	37	45	8	53	14
2009年	第29回大会	16	2	18	28	3	31	44	5	49	15
2010年	第30回記念大会	22	3	25	38	4	42	60	7	67	19
2011年	第31回大会	16	2	18	32	5	37	48	7	55	15
2012年	第32回大会	12	2	14	24	3	27	36	5	41	13
2013年	第33回大会	12	3	15	27	5	32	39	8	47	15
2014年	第34回大会	8	5	13	25	4	29	33	9	42	13
2015年	第35回大会	8	2	10	27	5	32	35	7	42	14
2016年	第36回大会	19	2	21	19	4	23	38	6	44	14
2017年	第37回大会※	14	7	21	25	9	34	39	16	55	15
2018年	第38回大会	13	2	15	23	7	30	36	9	45	15
2019年	第39回大会	7	1	8	34	6	40	41	7	48	18
2020年	2020大会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
2021年	第40回記念大会	1	0	1	2	1	3	3	1	4	3
2022年	第41回大会	6	0	6	16	3	19	22	3	25	12
2023年	第42回大会	13	2	15	23	7	30	36	9	45	15
2024年	第43回大会	13	0	13	23	5	28	36	5	41	12
大会合計		1,044	208	1,242	1,181	169	1,350	2,215	377	2,592	

※第37回大会は悪天候により、レース中止

年/大会		合 計									参加 国数	協賛 スポン サー
		ハーフマラソン			マラソン			合計				
		男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計		
1981年	第1回大会	110	7	117	0	0	0	110	7	117	14	3(3)
1982年	第2回大会	110	8	118	0	0	0	110	8	118	13	1(0)
1983年	第3回大会	56	5	61	54	3	57	110	8	118	14	1(0)
1984年	第4回大会	85	5	90	67	9	76	152	14	166	22	4(3)
1985年	第5回大会	112	7	119	64	2	66	176	9	185	20	4(1)
1986年	第6回大会	115	8	123	69	5	74	184	13	197	19	2(0)
1987年	第7回大会	106	7	113	91	7	98	197	14	211	20	3(0)
1988年	第8回大会	145	21	166	102	3	105	247	24	271	31	9(5)
1989年	第9回大会	147	27	174	126	4	130	273	31	304	25	6(0)
1990年	第10回記念大会	198	37	235	195	11	206	393	48	441	37	13(7)
1991年	第11回大会	216	27	243	168	8	176	384	35	419	33	17(4)
1992年	第12回大会	232	30	262	162	6	168	394	36	430	30	17(0)
1993年	第13回大会	226	18	244	175	6	181	401	24	425	32	18(2)
1994年	第14回大会	212	19	231	165	6	171	377	25	402	27	18(1)
1995年	第15回大会	215	20	235	192	6	198	407	26	433	42	20(2)
1996年	第16回大会	197	18	215	190	4	194	387	22	409	33	22(2)
1997年	第17回大会	208	23	231	193	9	202	401	32	433	28	22(2)
1998年	第18回大会	204	25	229	197	8	205	401	33	434	27	21(0)
1999年	第19回大会	196	18	214	164	4	168	360	22	382	26	22(1)
2000年	第20回記念大会	219	23	242	164	11	175	383	34	417	30	24(1)
2001年	第21回大会	211	21	232	168	12	180	379	33	412	28	24(1)
2002年	第22回大会	188	20	208	156	6	162	344	26	370	27	22(0)
2003年	第23回大会	182	15	197	140	11	151	322	26	348	20	19(0)
2004年	第24回大会	155	19	174	137	8	145	292	27	319	18	16(0)
2005年	第25回大会	149	23	172	143	5	148	292	28	320	20	16(2)
2006年	第26回大会	162	18	180	107	6	113	269	24	293	16	17(3)
2007年	第27回大会	142	14	156	98	7	105	240	21	261	15	17(1)
2008年	第28回大会	151	15	166	106	9	115	257	24	281	15	18(1)
2009年	第29回大会	152	13	165	94	5	99	246	18	264	16	14(0)
2010年	第30回記念大会	166	16	182	119	6	125	285	22	307	20	18(4)
2011年	第31回大会	144	9	153	100	8	108	244	17	261	16	17(0)
2012年	第32回大会	146	9	155	88	8	96	234	17	251	14	17(1)
2013年	第33回大会	143	13	156	82	9	91	225	22	247	16	17(0)
2014年	第34回大会	136	16	152	74	7	81	210	23	233	14	19(2)
2015年	第35回大会	141	14	155	70	7	77	211	21	232	15	22(3)
2016年	第36回大会	160	13	173	52	5	57	212	18	230	15	26(5)
2017年	第37回大会※	141	14	155	58	11	69	199	25	224	16	26(2)
2018年	第38回大会	143	12	155	60	8	68	203	20	223	16	33(10)
2019年	第39回大会	118	12	130	71	9	80	189	21	210	19	36(7)
2020年	2020大会	73	4	77	20	2	22	93	6	99	1	31(1)
2021年	第40回記念大会	95	9	104	25	2	27	120	11	131	4	40(7)
2022年	第41回大会	107	10	117	36	5	41	143	15	158	13	45(7)
2023年	第42回大会	111	16	127	54	9	63	165	25	190	16	51(9)
2024年	第43回大会	113	15	128	54	8	62	167	23	190	13	52(5)
大会合計		6,738	693	7,431	4,650	285	4,935	11,388	978	12,366		※(うち新規)

※第37回大会は悪天候により、レース中止

歴代優勝者とその記録

★世界記録 *大会記録

	マラソン				ハーフマラソン			
	男		女		男		女	
	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位
第1回	—	—	—	—	ゲオルグ・フロイント オーストリア 1° 01' 46"	宇田津 幸男 大阪府 1° 12' 42"	マーシャ・ビバード アメリカ 1° 21' 43"	中村 広美 鹿児島県 1° 45' 20"
第2回	—	—	—	—	リック・ハンセン カナダ 58' 30"	松井 順一 長野県 1° 08' 05"	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 1° 13' 26"	坂元 りつ子 大阪府 1° 35' 56"
第3回	グルコル・ゴロンバック 西ドイツ 2° 07' 54"	山本 行文 大分県 2° 22' 20"	キャンディス・ケープル アメリカ 2° 35' 48"	—	ポール・ファン・ウィンクル ベルギー 1° 05' 24"	永尾 嘉章 兵庫県 1° 17' 57"	幸塚 直子 石川県 1° 27' 53"	—
第4回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1° 48' 25"	山本 行文 大分県 2° 00' 47"	キャンディス・ケープル アメリカ 2° 21' 09"	幸塚 直子 石川県 2° 38' 14"	マリヤ・アル・オタビ クウェート 58' 33"	永尾 嘉章 兵庫県 1° 06' 33"	ピン・チョー 香港 1° 21' 28"	岩田 いつ子 愛知県 1° 27' 24"
第5回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1° 49' 46"	山本 行文 大分県 2° 00' 48"	ガブリエル・シルト スイス 2° 46' 42"	—	カエリ・チ・ワシキ メキシコ 59' 39"	宮居 昌彦 和歌山県 1° 07' 36"	シャロン・フレネット アメリカ 1° 14' 58"	多智 利枝 東京都 1° 24' 35"
第6回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1° 45' 36"	山本 行文 熊本県 1° 50' 05"	アンジェラ・イリチ カナダ 1° 58' 51"	多智 利枝 東京都 3° 02' 16"	林 誠二 大阪府 1° 00' 47"	—	カレン・ウィルソン イギリス 1° 20' 38"	岩田 いつ子 愛知県 1° 22' 51"
第7回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1° 44' 18"	山本 行文 熊本県 1° 53' 36"	アンジェラ・イリチ カナダ 2° 04' 31"	岩田 いつ子 愛知県 2° 42' 22"	サウル・メンドーサ メキシコ 56' 20"	伊藤 平太 佐賀県 1° 02' 16"	坂内 留美 東京都 1° 19' 09"	—
第8回	ポール・クラーク カナダ 1° 38' 27"	山本 行文 熊本県 1° 42' 42"	コニー・ハンセン デンマーク 2° 05' 28"	—	マヌエル・カサス メキシコ 55' 22"	竹村 克明 埼玉県 1° 04' 06"	イヴリッド・オリツィン デンマーク 1° 09' 20"	坂内 留美 東京都 1° 15' 40"
第9回	ムスタファ・パディ フランス 1° 40' 45"	山本 行文 熊本県 1° 43' 21"	ジャネット・ジャンセン オランダ 1° 48' 45"	坂内 留美 東京都 2° 49' 09"	ラジャ・シン シンガポール 52' 58"	山田 和宏 岡山県 1° 01' 58"	イヴリッド・オリツィン デンマーク 58' 57"	畑中 和 兵庫県 1° 06' 45"
第10回	ハインツ・フライ スイス 1° 39' 35"	山口 悟志 大阪府 1° 47' 07"	ジャネット・ジャンセン オランダ 1° 47' 09"	長谷川 尚美 兵庫県 1° 51' 31"	ロベルト・フィグル ドイツ 48' 26"	須田 伸太郎 山形県 57' 06"	ディアンナ・ソドマ アメリカ 1° 00' 03"	伊藤 由美 東京都 1° 07' 10"
第11回	ハインツ・フライ スイス 1° 35' 46"	川島 誉 和歌山県 1° 45' 44"	コニー・ハンセン デンマーク 1° 47' 45"	畑中 和 兵庫県 2° 02' 10"	サウル・メンドーサ メキシコ 49' 42"	中田 達也 京都府 55' 19"	イヴリッド・オリツィン デンマーク 1° 01' 54"	伊藤 由美 東京都 1° 07' 49"
第12回	クリスチャン・スチャポート 南アフリカ 1° 35' 47"	山本 行文 熊本県 1° 43' 29"	リリー・アングレニー ドイツ 1° 48' 35"	畑中 和 兵庫県 1° 54' 28"	ジェイク・ベルヴェイル アメリカ 53' 47"	山見 誠治 福岡県 53' 47"	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 57' 06"	藤原 志保 静岡県 1° 06' 24"
第13回	ハインツ・フライ スイス 1° 34' 35"	中村 博之 大阪府 1° 39' 56"	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 1° 52' 06"	畑中 和 兵庫県 1° 56' 34"	ホルヘ・ルヤ・セバダ メキシコ 47' 04"	野沢 英二 青森県 50' 32"	南野 教子 福岡県 1° 08' 02"	—
第14回	ハインツ・フライ スイス 1° 30' 54"	室塚 一也 北海道 1° 39' 09"	ジャンタル・ブティック カナダ 2° 01' 58"	南野 教子 福岡県 2° 27' 35"	ジム・C・マーティンソン アメリカ 48' 07"	野沢 英二 青森県 53' 05"	ドラ・カリア・イストラダ メキシコ 1° 05' 14"	藤原 志保 静岡県 1° 07' 52"
第15回	ハインツ・フライ スイス 1° 22' 38"	室塚 一也 北海道 1° 30' 54"	畑中 和 兵庫県 1° 44' 36"	—	エリック・ナイツェル アメリカ 46' 32"	野沢 英二 青森県 49' 59"	コニー・ハンセン デンマーク 55' 19"	櫻田 陽子 神奈川県 59' 05"
第16回	ハインツ・フライ スイス 1° 24' 24"	廣道 純 兵庫県 1° 31' 12"	ルース・サヴァージュ オーストラリア 1° 45' 03"	畑中 和 兵庫県 1° 48' 08"	エリック・ナイツェル アメリカ 47' 12"	西田 聡 長崎県 47' 16"	土田 和歌子 東京都 55' 30"	—
第17回	ハインツ・フライ スイス 1° 24' 49"	室塚 一也 北海道 1° 31' 34"	畑中 和 兵庫県 1° 39' 40"	—	アロン・ゴルディア メキシコ 45' 57"	野沢 英二 青森県 51' 41"	奥山 京子 山形県 54' 40"	—
第18回	ハインツ・フライ スイス 1° 26' 55"	室塚 一也 北海道 1° 30' 51"	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 1° 51' 36"	土田 和歌子 東京都 1° 56' 34"	エクトル・エルナンデス メキシコ 46' 37"	渡辺 幹司 大分県 46' 40"	リアデン・エルナンデス メキシコ 56' 16"	高良 依子 沖縄県 1° 00' 01"
第19回	ハインツ・フライ スイス 1° 20' 14"	室塚 一也 北海道 1° 31' 55"	畑中 和 兵庫県 1° 44' 31"	—	藤川 泰博 兵庫県 46' 50"	—	グセラ・ワングレン スウェーデン 51' 30"	川島 由美 愛知県 57' 09"
第20回	ハインツ・フライ スイス 1° 22' 03"	室塚 一也 北海道 1° 30' 32"	畑中 和 兵庫県 1° 42' 53"	—	エクトル・エルナンデス メキシコ 46' 40"	藤田 英二 山口県 46' 41"	土田 和歌子 東京都 *49' 36"	—
第21回	ハインツ・フライ スイス 1° 22' 20"	廣道 純 大分県 1° 29' 38"	土田 和歌子 東京都 1° 38' 32"	—	渡辺 習輔 大分県 45' 01"	—	長澤 麻子 山梨県 1° 02' 16"	—
第22回	ハインツ・フライ スイス 1° 25' 46"	廣道 純 大分県 1° 30' 20"	土田 和歌子 東京都 1° 44' 39"	—	ポール・ナナリー オーストラリア 47' 04"	寒川 進 京都府 47' 05"	ジェニー・ルンドブラッド スウェーデン *58' 03"	小峯 直美 東京都 1° 03' 30"
第23回	ジョエル・ジャン フランス 1° 25' 43"	カソガリ・ワシコフ 大分県 1° 29' 59"	土田 和歌子 東京都 1° 40' 01"	—	渡辺 習輔 大分県 44' 37"	—	ジェニー・ルンドブラッド スウェーデン 1° 00' 59"	小峯 直美 愛知県 1° 03' 16"

歴代優勝者とその記録

マラソン

★世界記録 *大会記録

	男子			女子		
	T51	T52	T53/54	T51	T52	T53/54
第24回	完走者なし	吉本 茂 長野県 2° 04' 07"	エルスト・ヴァン ダイク 南アフリカ 1° 28' 03"	出走者なし	リサ・マリ・フランス カナダ 2° 10' 27"	ダイアン・ロイ カナダ 1° 52' 25"
第25回	ステファン・ストローベル ドイツ 2° 39' 46"	伊藤 智也 三重県 2° 00' 02"	エルスト・ヴァン ダイク 南アフリカ 1° 26' 37"	出走者なし	八巻 智美 福島県 2° 19' 36"	ダイアン・ロイ カナダ 1° 46' 07"
第26回	ステファン・ストローベル ドイツ 2° 36' 24"	伊藤 智也 三重県 1° 52' 36"	笹原 廣喜 大分県 1° 24' 15"	出走者なし	八巻 智美 福島県 2° 17' 49"	畑中 和 兵庫県 1° 39' 28"
第27回	ハインリッヒ・クーペル ドイツ 2° 40' 09"	サンティアゴ・サンツ スペイン * 1° 43' 46"	エルスト・ヴァン ダイク 南アフリカ 1° 23' 22"	出走者なし	八巻 智美 福島県 2° 09' 50"	土田 和歌子 東京都 1° 38' 55"
第28回	完走者なし	上与那原 寛和 沖縄県 1° 47' 17"	ハインツ・フライ スイス 1° 26' 06"	出走者なし	八巻 智美 福島県 ★2° 07' 28"	アマダ・マグローリー アメリカ 1° 43' 33"
第29回	完走者なし	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 47' 37"	ハインツ・フライ スイス 1° 25' 46"	出走者なし	ミシェル・ステイウェル カナダ 2° 21' 16"	土田 和歌子 東京都 1° 39' 35"

	男子			女子		
	T51	T33/52	T34/53/54	T51	T33/52	T34/53/54
第30回	ステファン・ストローベル ドイツ 2° 32' 36"	上与那原 寛和 沖縄県 1° 50' 22"	マルセル・フグ スイス 1° 23' 28"	出走者なし	ミシェル・ステイウェル カナダ 2° 30' 52"	アマダ・マグローリー アメリカ 1° 44' 38"
第31回	完走者なし	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 50' 25"	マルセル・フグ スイス 1° 24' 55"	出走者なし	出走者なし	サンドラ・グラフ スイス 1° 45' 37"
第32回	井上 聡 愛媛県 2° 59' 13"	高田 稔浩 福井県 2° 00' 05"	マルセル・フグ スイス 1° 25' 08"	出走者なし	出走者なし	土田 和歌子 東京都 1° 43' 10"
第33回	ステファン・ストローベル ドイツ 2° 37' 15"	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 46' 09"	マルセル・フグ スイス 1° 23' 49"	出走者なし	出走者なし	マニュエラ・シャース スイス 1° 38' 07"
第34回	完走者なし	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 47' 29"	マルセル・フグ スイス 1° 21' 40"	出走者なし	出走者なし	マニュエラ・シャース スイス 1° 38' 42"
第35回	ピーター・ドウ・プレア 南アフリカ 2° 39' 52"	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 48' 01"	マルセル・フグ スイス 1° 24' 53"	出走者なし	出走者なし	マニュエラ・シャース スイス 1° 40' 46"
第36回	ピーター・ドウ・プレア 南アフリカ 2° 30' 53"	佐藤 友祈 岡山県 1° 49' 32"	山本 浩之 福岡県 1° 26' 02"	出走者なし	出走者なし	喜納 翼 沖縄県 1° 44' 56"
第37回	悪天候により、レース中止					
第38回	ピーター・ドウ・プレア 南アフリカ 2° 37' 06"	佐藤 友祈 岡山県 1° 47' 57"	マルセル・フグ スイス 1° 23' 59"	出走者なし	出走者なし	喜納 翼 沖縄県 1° 39' 36"
第39回	ピーター・ドウ・プレア 南アフリカ 2° 27' 07"	上与那原 寛和 沖縄県 1° 53' 04"	マルセル・フグ スイス 1° 22' 51"	出走者なし	出走者なし	マニュエラ・シャース スイス 1° 35' 42"
2020	出走者なし	佐藤 友祈 岡山県 1° 49' 29"	鈴木 朋樹 東京都 1° 22' 02"	出走者なし	出走者なし	土田 和歌子 東京都 1° 39' 42"
第40回	ピーター・ドウ・プレア 南アフリカ 2° 34' 30"	佐藤 友祈 岡山県 1° 50' 19"	マルセル・フグ スイス ★1° 17' 47"	出走者なし	出走者なし	喜納 翼 沖縄県 1° 40' 13"
第41回	ピーター・ドウ・プレア 南アフリカ ★2° 22' 33"	佐藤 友祈 岡山県 1° 49' 57"	マルセル・フグ スイス 1° 21' 10"	出走者なし	出走者なし	土田 和歌子 東京都 1° 37' 59"
第42回	ピーター・ドウ・プレア 南アフリカ 2° 31' 07"	上与那原 寛和 沖縄県 1° 54' 30"	マルセル・フグ スイス 1° 17' 51"	出走者なし	出走者なし	カテリーヌ・デルナー スイス * 1° 35' 11"
第43回	ピーター・ドウ・プレア 南アフリカ 2° 34' 37"	伊藤 竜也 福井県 1° 55' 37"	金 華 中国 1° 18' 31"	出走者なし	出走者なし	カテリーヌ・デルナー スイス 1° 36' 49"

歴代優勝者とその記録

ハーフマラソン

*大会記録

	男子			女子		
	T51	T52	T53/54	T51	T52	T53/54
第24回	濱添 要 大分県 1° 49' 31"	吉野 真旨 兵庫県 1° 07' 04"	渡辺 習輔 大分県 46' 05"	出走者なし	クリステン・メサー アメリカ 2° 07' 16"	川島 由美 兵庫県 54' 33"
第25回	濱添 要 長崎県 1° 34' 05"	森島 英樹 兵庫県 1° 11' 16"	渡辺 習輔 大分県 47' 17"	完走者なし	要田 美紀 東京都 1° 16' 16"	川島 由美 兵庫県 54' 56"
第26回	濱添 要 長崎県 1° 32' 51"	上与那原 寛和 沖縄県 53' 59"	吉田 高志 大分県 45' 06"	完走者なし	要田 美紀 東京都 1° 13' 29"	リユー・ウェン・ユン 中国 53' 55"
第27回	濱添 要 長崎県 1° 32' 56"	森島 英樹 兵庫県 1° 05' 53"	吉田 高志 大分県 45' 24"	完走者なし	佐藤 由加 岡山県 1° 12' 57"	宮本 美紀 岡山県 1° 00' 55"
第28回	濱添 要 長崎県 1° 36' 26"	浜上 悟 石川県 1° 04' 00"	渡辺 習輔 大分県 46' 51"	完走者なし	佐藤 由加 岡山県 1° 12' 37"	高峯 瑞喜 東京都 1° 02' 12"
第29回	濱添 要 長崎県 1° 36' 29"	松本 直幸 福岡県 1° 07' 38"	西原 宏明 京都府 45' 21"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 11' 58"	リユー・ウェン・ユン 中国 55' 17"

	男子			女子			新人賞
	T51	T33/52	T34/53/54	T51	T33/52	T34/53/54	
第30回	濱添 要 長崎県 1° 31' 31"	佐藤 仁志 岡山県 1° 10' 14"	渡辺 習輔 大分県 45' 11"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 12' 11"	マニユエラ・シャー スイス 54' 33"	
第31回	ケビン・ストークス アメリカ 1° 30' 46"	デュアン・モロー アメリカ 1° 06' 31"	リチャード・コールマン オーストラリア 48' 10"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 10' 16"	マニユエラ・シャー スイス 56' 58"	
第32回	長崎 裕也 東京都 1° 36' 01"	野田 昭和 鳥取県 56' 49"	佐矢野 利明 大分県 46' 46"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 08' 10"	ローズマリー・リトル オーストラリア 57' 22"	
第33回	平山 健悟 福岡県 1° 44' 42"	野田 昭和 鳥取県 55' 41"	ピエール・フェアバンク フランス 45' 05"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 10' 10"	ローズマリー・リトル オーストラリア 58' 44"	渡辺 勝 福岡県 46' 10"
第34回	清田 慎也 熊本県 1° 37' 40"	佐藤 友祈 静岡県 53' 10"	松永 仁志 岡山県 46' 35"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 09' 54"	ローズマリー・リトル オーストラリア 53' 11"	河室 隆一 大分県 50' 33"
第35回	清田 慎也 熊本県 1° 28' 53"	野田 昭和 鳥取県 53' 41"	渡辺 勝 福岡県 47' 32"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 12' 54"	中山 和美 神奈川県 53' 11"	田中 祥隆 福岡県 52' 29"
第36回	エルネスト・フォンセカ コスタリカ 1° 25' 11"	野田 昭和 鳥取県 56' 44"	渡辺 勝 福岡県 43' 46"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 11' 14"	リユー・ウェン・ユン 中国 52' 05"	武村 浩生 福岡県 50' 52"
第37回	悪天候により、レース中止						
第38回	清田 慎也 熊本県 1° 24' 48"	野田 昭和 鳥取県 53' 50"	百武 強士 佐賀県 46' 11"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 11' 52"	中山 和美 神奈川県 52' 59"	生馬 知季 岡山県 46' 21"
第39回	井上 聡 愛媛県 1° 27' 22"	野田 昭和 鳥取県 55' 46"	サミュエル・リゾ オーストラリア 46' 35"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 17' 49"	見崎 真未 熊本県 1° 15' 37"	岸澤 宏樹 大阪府 48' 31"
2020	出走者なし	伊藤 竜也 福井県 57' 48"	久保 恒造 北海道 43' 42"	出走者なし	片平 留依 福岡県 1° 45' 35"	安川 祐里香 沖縄県 57' 36"	仲泊 厚志 沖縄県 49' 01"
第40回	出走者なし	伊藤 竜也 福井県 56' 00"	生馬 知季 岡山県 44' 43"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 16' 33"	安川 祐里香 沖縄県 58' 22"	
第41回	清田 慎也 熊本県 1° 31' 48"	伊藤 竜也 福井県 55' 54"	生馬 知季 岡山県 45' 32"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 19' 59"	村岡 桃佳 岡山県 54' 10"	
第42回	長崎 裕也 東京都 1° 42' 09"	伊藤 竜也 福井県 *52' 47"	生馬 知季 岡山県 *43' 05"	出走者なし	田中 照代 愛知県 1° 15' 15"	村岡 桃佳 岡山県 52' 01"	
第43回	井上 聡 愛媛県 1° 38' 28"	松本 直幸 福岡県 1° 02' 05"	生馬 知季 岡山県 44' 04"	出走者なし	西村 柚菜 静岡県 1° 11' 28"	中尾 有沙 熊本県 56' 23"	

協力者名簿

大分県警察本部	陸上自衛隊別府駐屯地第41普通科連隊
大分市交通指導員連合会	日本赤十字社大分県支部
大分県立芸術文化短期大学	別府重度障害者センター
社会医療法人恵愛会大分中村病院	医療法人社団唱和会明野中央病院
大分市医師会立アルメイダ病院	医療法人大場整形外科
大分県立病院	社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター
大分県パラスポーツ指導者協議会	独立行政法人国立病院機構大分医療センター
世界パラ陸上競技連盟	一般社団法人日本パラ陸上競技連盟
公益財団法人日本陸上競技連盟	一般財団法人大分陸上競技協会
大分走ろう会	大分市消防局
大分土木事務所	
株式会社トキハ	大分県信用組合
株式会社豊和銀行	大分みらい信用金庫
千代田商事株式会社	九州労働金庫
大分航空ターミナル株式会社	株式会社レンブランドホテル大分
サントリーホールディングス株式会社	大塚製薬株式会社
大分県共同募金会	近藤晴彦
大分国際車いすマラソン通訳ボランティア Can-do	オムロン株式会社
ソニーグループ株式会社	本田技研工業株式会社
三菱商事株式会社	株式会社デンソー
エフサステクノロジーズ株式会社	新日本製薬株式会社
九州電力株式会社	キヤノン株式会社
ジブラルタ生命保険株式会社	清水建設株式会社
全日本空輸株式会社	全国共済農業協同組合連合会
東京海上日動火災保険株式会社	第一生命保険株式会社
鬼塚電気工事株式会社	西日本電信電話株式会社
株式会社ブンゴヤ薬局	トランスコスモス株式会社
明治安田生命保険相互会社	株式会社三井住友銀行
大分みらい信用金庫	千代田商事株式会社
大分航空ターミナル株式会社	株式会社アズメディック
連合大分中部地域協議会	大分県ボランティア・市民活動センター
学校法人平松学園大分リハビリテーション専門学校	学校法人平松学園大分東明高等学校
学校法人後藤学園楊志館高等学校	学校法人岩田学園岩田高等学校
障がい者スポーツサポーターの皆さま	
ジェイリーススタジアム（大分市営陸上競技場）	クラサスドーム大分
国土交通省九州運輸局大分運輸支局	国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所
別府市上下水道局	大分法務総合庁舎
平和市民公園	大手公園
大分城址公園	アートプラザ
荷揚複合公共施設	荷揚リンクスクエア
大分県立大分舞鶴高等学校	大分県立大分商業高等学校
大分市営温水プール	大分県身体障害者福祉センター
大分市立三佐小学校	大分市立舞鶴小学校
王子マテリア株式会社	大和リース株式会社
株式会社きんでん	ダイワ運輸株式会社

学校法人河野文化学園明星国際ビューティカレッジ
セブンイレブン大分日岡3丁目店
ローソン大津町1丁目店
一般社団法人大分県医師会
大分県のぞみ園
社会福祉法人法治会
JA べっぴん日出
別府土木事務所

ドラッグストアコスモス王子港町店
セブンイレブン大分中島中央店
ローソン大分王子町店
大分県立新生支援学校
社会福祉法人新友会
社会福祉法人アップルミント
大分県農林水産研究指導センター農業研究部花きグループ

大分市竹町通商店街振興組合
大分市府内五番街商店街振興組合
TOMOMI CHEERDANCE PLACE OITA
学校法人平松学園千代町幼稚園
一番運輸株式会社
道守大分会議

大分市中央町商店街振興組合
株式会社 JR おおいたシティ
八幡総本宮宇佐神宮
大分市立大道小学校
一般社団法人日本デフビーチバレーボール協会
公益社団法人大分県理学療法士協会

一般社団法人大分県バス協会
公益社団法人大分県トラック協会
大分交通株式会社

一般社団法人大分県タクシー協会
大分バス株式会社

有限会社大分タキ
株式会社ミキ

日進医療器株式会社
株式会社オーエックスエンジニアリング

第43回大分国際車いすマラソン事務局名簿

大会実行委員長	工藤 哲史		
大会事務局長	安田 幸		
事務局次長	瀬尾 一哉	全体統括	大畑 有輝
競技運営・記録・ドーピング	松岡 新也	コース・医務	野上 翔平
スタート	岩田 優里	クラス分け・交流	浜田志名子
競技場・閉会式	長野 修三	選手管理・FCA	佐藤 由紀
車両・医務	島田 圭子	選手受付	曾我 晶子
事務補助	藤原 彩楠	国際渉外	衛藤 千乃
交歓のタベ	佐甲 美奈	開会式	伊見 英俊
アシストスタッフ	大久保峻吾	事務補助	松田 悠衣

第43回大分国際車いすマラソン 記念誌

企画編集 大分国際車いすマラソン事務局
(大分県福祉保健部障害者社会参加推進室)
<https://kurumaisu-marathon.com>
TEL 097-533-6006
FAX 097-506-1736

印刷所 株式会社 佐伯コミュニケーションズ
TEL 097-543-1211

Platinum Partner

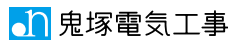
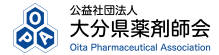
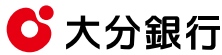


美と健康の「新しい」で、笑顔あふれる毎日をつくる。

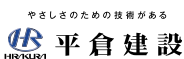
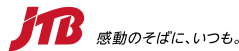


一般社団法人
中村裕バラスポーツサポートミーティング
Yutaka Nakamura Parasports Support Meeting

Official Partner



大分県プレハブ建築連絡協議会



大分県 公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会 / 一般社団法人日本パラ陸上競技連盟

大分市 大分合同新聞社 / 社会福祉法人大分県社会福祉協議会 / 大分県障がい者スポーツ協会

●本大会は、「赤い羽根共同募金配分金」の助成をいただいています。

